FUJIFILM

BL00840-100 J

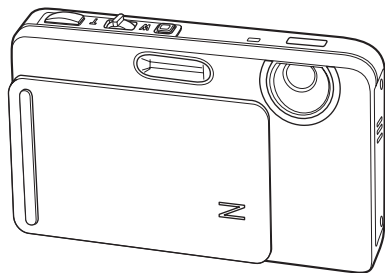
DIGITAL CAMERA

FINEPIX Z300

使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラファインピックス Z300、
および付属のソフトウェアの使い方がまとめられています。

内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/

NetFront®

カメラをお使いになる前に

次の手順にしたがって
準備してください

1

箱の中の付属品が
すべてそろっているかを
確認してください（右記）。

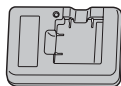
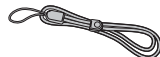
2

カメラを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」
（→ 97 ページ）をお読みください。

3

本書をよくお読みの上、
カメラをお使いください。

■ 付属品一覧

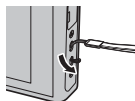
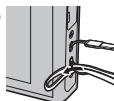
充電式バッテリー
NP-45（1 個）

バッテリーチャージャー
BC-45W（1 式）

ストラップ（1 本）

専用 USB
ケーブル（1 本）

Software for FinePix CD-ROM（1 枚）
ご使用の前にソフトウェア使用許諾契約書を必ずお読みください（→ 99 ページ）。

- 使用説明書一式
- 保証書（1 部）
- タッチペン

ストラップの取り付け方

右のようにしてストラップを取り付けてください。

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

こんな時に使いたい機能一覧 P.4

カメラを使ってやりたいことがあっても、どの機能を使えばいいか分からないときに参照してください。

目次 ➡ P.7

カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときに参照してください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

トラブルシューティング /FAQ ➡ P.102

カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。

警告表示 ➡ P.110

液晶モニターに表示される警告の意味と原因を紹介しています。

用語の解説 ➡ P.114

カメラに関する専門用語を解説しています。

索引 ➡ P.120

用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。

使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

本書で使われている記号について

注意：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。

チェック：実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。

メモ：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

液晶モニターのイラストについて

本書では、液晶モニターの表示を簡略化して記載しています。

こんな時に使いたい機能一覧

したいことや知りたいことから、使える機能の説明が記載されているページを探せます。

■ カメラの設定、操作について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
カメラの時計を合わせたい。	日時設定	P.22
カメラの時計を旅行先の現地時間に合わせたい。	世界時計	P.94
タッチパネルの使い方が知りたい。	タッチパネル	P.12
液晶モニターが自動的に消えないようにしたい。	自動電源 OFF	P.93
液晶モニターの明るさを変えたい。	モニター明るさ	P.92
シャッター音や操作音が鳴らないようにしたい。	音量 / マナーモード	P.92/28
シャッターの音色を変更したい。	音色	P.92
カメラ本体のボタンの名前を知りたい。	各部の名称	P.10
液晶モニターに表示されるアイコンの名前を知りたい。	液晶モニターの表示	P.11
カメラメニューを使いたい。	メニューを使いこなす	P.77
液晶モニターに表示される警告表示の意味を知りたい。	警告表示	P.110
バッテリーの残量がどれくらいか知りたい。	バッテリー残量について	P.24
撮影した画像を自宅のプリンターでプリントしたい。	プリンターにカメラを直接つないでプリントする	P.72
撮影した画像をパソコンで見たい。	画像をパソコンに転送する	P.64
インターネットで撮影した画像を共有したい。	画像を Fotonoma で共有する	P.71
タッチパネルの位置を調節したい。	キャリブレーション	P.94
赤外線通信で他のカメラや携帯電話に画像をコピーしたい。	赤外線通信	P.74

■ 撮影について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
同じメモリーカードであと何コマ撮影できるか知りたい。	撮影可能枚数	P.116
カメラに任せて簡単に撮影したい。	（オート）で撮影する	P.24
手ブレの少ない写真を撮りたい。	ブレ防止	P.25
人物の顔をきれいに撮りたい。	顔キレイナビで撮影する	P.30
状況に合ったモードを選んで撮影したい。	SP シーンポジション	P.43
撮影シーンの認識から設定までカメラに任せて撮影したい。	SR オート	P.41
被写体に近づいて撮影（近距離撮影）したい。	近距離撮影する	P.37
暗い場所でもフラッシュを使わずに撮影したい。	フラッシュ撮影する	P.32
人物の赤目現象が起きないように撮影したい。		
明るい場所でも、フラッシュを必ず光らせたい。		
連続撮影したい。	連写	P.79
集合写真に自分も写りたい。	セルフタイマーを使って撮影する	P.34
画面の中央にいない被写体にピントを合わせたい。	AF/AE ロック撮影する	P.38
画像の明るさを変えたい。	露出補正	P.79
動画を撮影したい。	動画を撮影する	P.61
画面をタッチした場所にピントを合わせて撮影したい。	タッチショット	P.41

■ 再生について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
フォルダをパスワードで管理したい。	パスワード	P.59
撮影した画像をすぐ確認したい。	１コマ再生する	P.45
簡単操作で画像を１コマ消去したい。	をタッチして画像を消去する	P.29
画像を１コマまたはすべて消去したい。	画像を消去する	P.48
画像を拡大して見たい。	再生ズーム	P.45
複数の画像を一度に見たい。	マルチ再生する	P.47
大事な画像を間違えて消去しないように保護したい。	プロテクト	P.86
画像をスライドショー形式で再生したい。	スライドショー	P.85
画像の必要な部分だけを切り抜きたい。	トリミング	P.53
画像を回転したい。	画像回転	P.52
画像のサイズを変えたい。	リサイズ	P.54
複数の画像を組み合わせて合成したい。	レイアウトフォト	P.50
画像をコピーまたは移動したい。	画像コピー、移動	P.60
画像をフォルダ別に整理したい。	フォルダ管理	P.59
画像を検索したい。	ピクチャーサーチ	P.56

目次

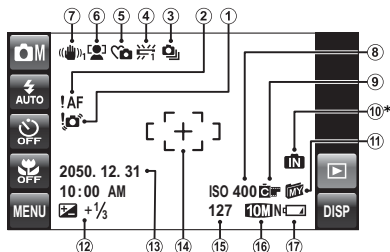
各部の名称

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。

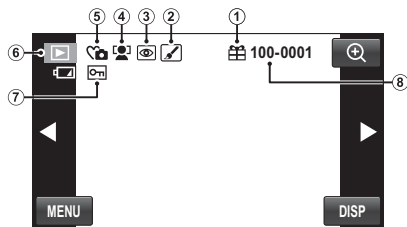
1 シャッターボタン……P.27
2 ズームレバー……P.26、46
3 (HOME)ボタン……P.18、21、77
4 マイク……P.62
5 赤外線通信ポート……P.74
6 フラッシュ……P.32
7 電源スイッチ / レンズカバー……P.21
8 レンズ……P.117
9 スピーカー……P.63
10 イルミネーション……P.88
セルフタイマーランプ……P.36
11 液晶モニター……P.11
タッチパネル……P.12、13
12 インジケーターランプ……P.28
13 端子カバー
14 ストラップ取り付け部……P.2
15 DC カプラー用ケーブルカバー……P.18
16 バッテリーカバー……P.17
17 三脚用ねじ穴
18 USB 端子……P.70、72
19 メモリーカードスロット……P.19
20 バッテリー挿入部……P.17
21 バッテリー取り外しつまみ……P.17

液晶モニター（タッチパネル）の表示

撮影時および再生時には、液晶モニター（タッチパネル）に次の情報が表示されます。

■ 静止画撮影時

* IN はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

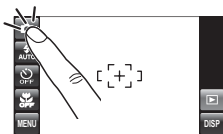
1	手ブレ警告......P.32	10	内蔵メモリー *
2	AF 警告......P.27	11	フォルダ表示......P.59
3	連写......P.79	12	露出補正......P.79
4	ホワイトバランス......P.80	13	日付・時刻......P.22
5	マナーモード......P.28	14	AF フレーム......P.27
6	顔キレイナビ......P.30	15	撮影可能枚数......P.116
7	ブレ防止......P.25	16	ピクセル......P.81
8	感度......P.81	17	バッテリー残量表示......P.24
9	FINEPIX カラーモード...P.82		

■ 再生時

1	プレゼント......P.45、75	5	マナーモード......P.28
2	画像加工......P.50	6	再生モード......P.45
3	赤目補正......P.55	7	プロテクト......P.86
4	顔キレイナビ......P.30	8	コマ NO......P.90

タッチパネルの使い方

このカメラの液晶モニターは、タッチパネルになっています。画面をタッチして操作してください。
このカメラのタッチパネルは圧力を感知するタイプです。パネルは確実にタッチしてください。

■ タッチする

画面に触れて離します。モードやメニューの切り換え、画像を選ぶときなどに使います。

■ スクロールする

画面上を指で掃くようにすばやく動かします。再生画面で前後の画像を表示するときなどに使います。

■ ドラッグする

画面に触れたまま、指を動かします。拡大再生中の画像の表示範囲を変更するときなどに使います。

■ ドラッグ＆ドロップする

画像などに触れたまま、別のアイコンに動かします。フォルダに画像を入れるときやレイアウトフォトを選択するときに使います。

注意

タッチパネル、液晶モニターが壊れる原因となりますので、下記の点にご注意ください。

- タッチパネルに保護シートやシールなどを貼らないでください。
- タッチパネルは、指か付属のタッチペン以外で操作しないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- カメラをズボンのポケットに入れたまま座ったり、いっぱいになったかばんに無理に入れるなどしないでください。
- ストラップに一緒にぶら下げたアクセサリーなどにより、液晶モニターに圧力がかかるようなことのないようにしてください。

タッチパネルの画面は、実際の画面と異なる場合があります。

タッチパネルの基本画面

撮影画面のタッチアイコン

撮影画面では、以下のアイコンをタッチすると、設定の切り換えができます。撮影モードや設定状態などによって、操作できる項目や表示は異なります。

フラッシュ設定メニューへ（P.32）
アイコンをタッチすると、フラッシュモードの設定メニューが表示されます。

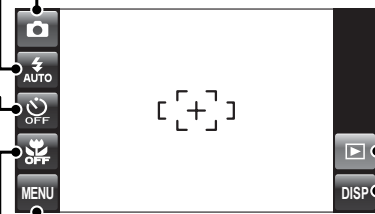
セルフタイマー設定メニューへ（P.34）
アイコンをタッチすると、セルフタイマーの設定メニューが表示されます。

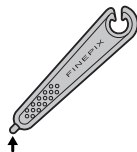
マクロ設定メニューへ（P.37）
アイコンをタッチすると、マクロモードの設定メニューが表示されます。

撮影モード選択画面へ（P.40）
アイコンをタッチすると、撮影モードの選択画面に移ります。

画像の再生画面へ（P.29、45）
▶ をタッチすると、画像の再生画面に移ります。

液晶モニター表示切り換え（P.26）
DISP をタッチすると、液晶モニターの表示を切り換えます。

撮影メニューへ（P.77）
MENU をタッチすると、撮影メニュー画面に移ります。

タッチペンについて（付属品）

タッチパネルが指で操作しづらいときは、タッチペンを使うと便利です。無くさないように付属のストラップに取り付けてお使いください。

この部分をタッチパネルに当てて操作します。

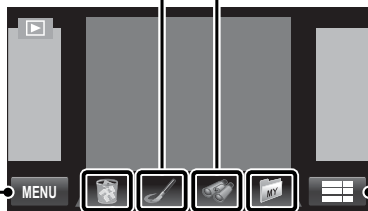
⚠ 警告

- 乳幼児やペットが飲み込むなどの危険がありますので保管には十分気をつけてください。
- タッチペンを持って、カメラを持ち運ばないでください（ストラップ取り付け時）。カメラが外れて、故障や怪我の原因になることがあります。

注意

- 必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 収納時は、タッチペンとタッチパネルを重ねないでください。
- タッチペンは、タッチパネルの操作以外に使用しないでください。
- 傷ついたり変形したタッチペンは使用しないでください。

再生画面のタッチアイコン

３コマ再生画面では、以下のアイコンをタッチすると、表示の切り換え、消去、編集などができます。再生中の画像の種類やカメラの状態によって、操作できる項目や表示は異なります。

メモ：３コマ再生画面

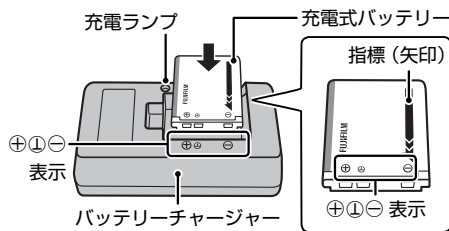
1 コマ再生画面で画像をタッチすると、3 コマ画面が表示されます（→ 46 ページ）。

バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。

お客様がお使いのバッテリーは NP-45 です。

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

⊕Ⓣ⊖ 表示に従って、下図の方向で正しくセットしてください。

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

充電ランプが点灯して充電を開始します。

充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください
	フル充電（充電終了）	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください

3 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

バッテリーについてのご注意

- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」（→ 97 ページ）を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。

バッテリーの寿命について

使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

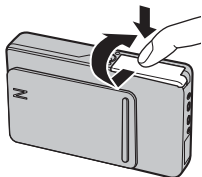
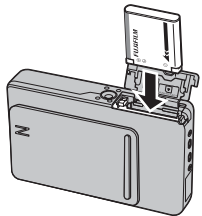
バッテリーチャージャーについてのご注意

- バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時は充電時間が長くなることがあります。

バッテリーを入れる

バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーを入れます。

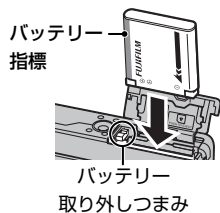
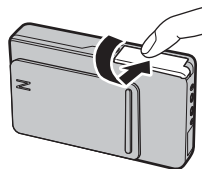
1 カメラの電源がオフになっていることを確認して、バッテリーカバーを開けます。

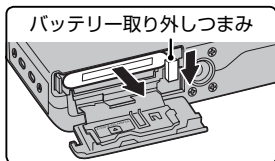
バッテリカバーの中央を軽く押しながら開けてください。

2 バッテリーを入れます。

- 金色の端子を下にして、カメラのバッテリー取り外しつまみ（オレンジ色）にバッテリーのバッテリー指標（オレンジ色）を合わせます。

- バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

3 バッテリーカバーを閉めます。

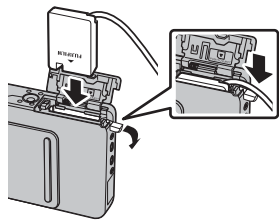
バッテリカバーの中央を軽く押しながら閉めてください。

撮影の準備

バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

バッテリー挿入時のご注意

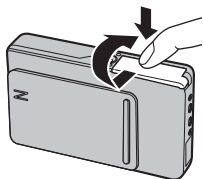
- **バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。**
- カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。
- バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。

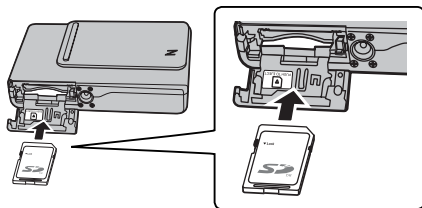
メモ：AC パワーアダプターについて

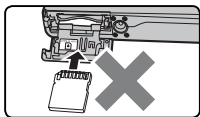
- このカメラは、別売の AC パワーアダプターと DC カプラーを組み合わせて、電源を供給することもできます。DC カプラーのコードが DC カプラー用ケーブルカバーを開けた部分から出るように注意して、入れてください。使い方については、それぞれに付属の使用説明書を参照してください。
- AC パワーアダプターで電源供給時、電源をオンするとデモモード再生開始のメッセージが表示されます。設定するとスライドショーが再生されます。キャンセルする場合はシャッターボタンを押してください。ズームレバーを **T** 方向に動かしたまま ▶ ボタンを長押しすると、次回に AC パワーアダプターで使用する際もデモモードの再生メッセージは表示されなくなります。

メモリーカードを入れる

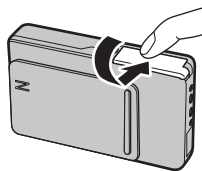
撮影した画像は、内蔵メモリーまたは市販の SD/SDHC メモリーカードのどちらかに記録されます。

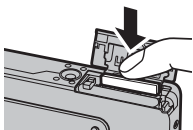
1 カメラの電源がオフになっていることを確認して、バッテリーカバーを開けます。

バッテリカバーの中央を軽く押しながら開けてください。

2 メモリーカードを入れます。

図のように正しい向きで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

メモリーカード挿入時のご注意

メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。

3 バッテリーカバーを閉めます。

バッテリカバーの中央を軽く押しながら閉めてください。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源がオフになっていることを確認して、メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

注意

メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

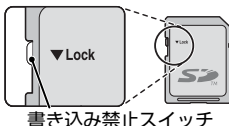
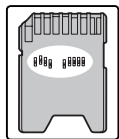
■ 使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、SanDisk 社製の SD/SDHC メモリーカードの使用をおすすめします。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/ を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD- ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

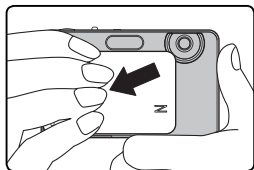
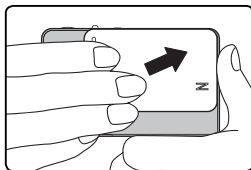
メモリーカードについてのご注意

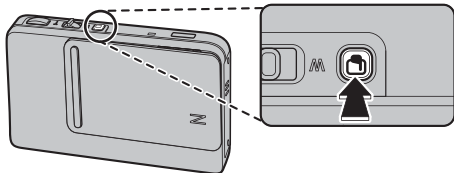
- **メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。**
- SD/SDHC メモリーカードをカメラに入れるときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。

書き込み禁止スイッチ

- 未使用の SD/SDHC メモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用した SD/SDHC メモリーカードは、必ずカメラでフォーマット（→ 93 ページ）してからご使用ください。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- miniSD アダプターや microSD アダプターの中には、アダプター裏面に金属端子が露出しているものがあります。このようなアダプターをお使いになると、異常接触となる恐れがあり、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

  また、外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フイルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- SD メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラを修理すると、内蔵メモリーのデータが消えたり、壊れたりすることがあります。また、修理技術者が、修理中に内蔵メモリーの画像を見ることがあります。
- カメラでメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリー内の画像の削除は、必ずカメラで行ってください。画像の編集や名前変更をするときは、カメラのオリジナル画像を使わないでください。パソコンなどに画像をコピーし、コピーした画像で編集や名前変更をしてください。

電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにするには、レンズカバーを完全に止まるところまで開けます。レンズカバーを閉めると、電源がオフになります。

電源オン

電源オフ

再生モードで電源をオンにするには

レンズカバーが閉まっているときに、カメラ上部の ボタンを長押しすると、再生モードで電源がオンになります。

メモ：撮影と再生の切り換え

- 撮影中に ▶ をタッチすると、再生モードになります。
- 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。

メモ：自動電源 OFF

一定時間内に操作が何も行われないときは、自動的にカメラの電源がオフになります。セットアップメニューの **自動電源 OFF**（→ 93 ページ）では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。

注意

- レンズに指紋が付かないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。
- 電源をオフすると、インジケーターランプが点灯します。インジケーターランプ点灯中に電池は抜かないでください。また、点灯中は電源をオンにできません。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語、日時、撮影モードが設定されていません。次の手順で使用する言語を選び、日時と撮影モードを設定します。

1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。

2 使用する言語をタッチします。

3 **年**、**月**、**日**を設定します。

+、**−**をタッチして日付を設定します。

☛ **チェック**

年月日の並び順は、**年 . 月 . 日**をタッチすると変更できます。

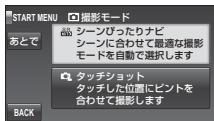
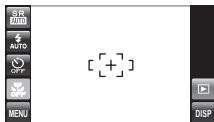
4 **OK** をタッチします。

5 **AM/PM**、**時**、**分**を設定します。

AM または **PM** をタッチして午前 / 午後を設定します。**+**、**−**をタッチして時刻を設定します。

6 **OK** をタッチします。

7 撮影モードを設定します。

設定したい項目をタッチします。

8 設定が終了すると、撮影画面が表示されます。

メモ：言語 / 日時設定 / 撮影モードの設定、保持

バッテリーを取り外して長期間保管したときも **言語/LANG.**、**日時設定**、**撮影モード**がクリアされ確認画面が表示されます。別売の AC パワーアダプターと DC カプラーを接続、またはバッテリーを入れて約 1 日以上経過していれば、カメラから取り外しても、約 7 日保持されます。

設定のスキップ

あとでをタッチすると、設定をスキップできます。

スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

BACK をタッチすると、前の画面に戻ります。

日時設定の例

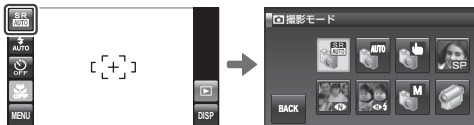
撮影の準備

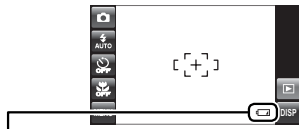
（オート）で撮影する

ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。（オート）以外の撮影モードに切り換える方法については、40 ページを参照してください。

カメラの電源をオンにする

1 カメラの電源をオンにします。
レンズカバーを完全に止まるところまで開けます。

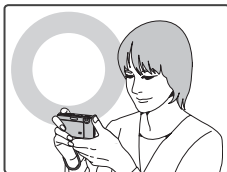
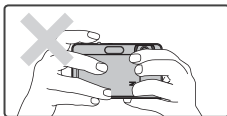
2 撮影モードアイコンをタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。

3 （オート）をタッチします。
撮影モードアイコンが になり、撮影画面が表示されます。

4 バッテリー残量を確認します。
バッテリー残量を液晶モニターで確認します。

バッテリー残量

表示	意味
（白点灯）	バッテリーの残量は十分にあります。
（白点灯）	バッテリーの残量は約半分以下です。
（赤点灯）	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
（赤点滅）	バッテリー残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを充電してください。

カメラを構えて、構図を決める

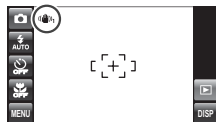
1 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。

- レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。

2 構図を決めます。

- 被写体の中心を液晶モニターの AF フレームに合わせ、構図を決めます。
- このカメラは光学ズームを装備しています。ズーム（**W**/**T**）レバーを動かして、構図を調整します（→ 26 ページ）。

ブレ防止

撮影メニューの **ブレ防止**（→ 78 ページ）を **ON** にすると、暗い場所でも手ブレや被写体ブレを軽減し、ノイズを抑えた高感度により背景まで明るく撮影できます。

ブレ防止を ON にすると、手ブレ補正アイコン（1/2）が表示されます。ブレ防止の種類（1/2）はセットアップメニューで設定します（→ 88 ページ）。

注意

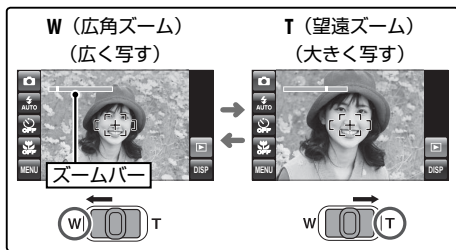
シーンや撮影方法によっては、ブレが残ることがあります。

撮影画像

撮影した画像は、メモリーカードが挿入されていない場合は内蔵メモリーに、メモリーカードが挿入されている場合は（マイピクチャー）フォルダに保存されます。撮影した画像を他のフォルダにコピーまたは移動したいときは、**フォルダ管理**（→ 59 ページ）で整理できます。

ズームを使うには

ズームレバーを操作すると、ズームが作動して被写体の大きさを変えることができます。

広い範囲を写したいときは **W** 方向、被写体を大きく写したいときは **T** 方向に、ズームレバーを動かしてください。

セットアップメニューの **デジタルズーム**を **ON** にすると、被写体をさらに大きく撮影できます（→ 91 ページ）。

文字の表示をオン・オフする

撮影時に **DISP** をタッチするごとに、液晶モニターの表示が次のように切り換わります。

文字表示あり　　文字表示なし

フレーミングガイドを使って構図を決める

撮影メニューの **フレーミングガイド**（→ 78 ページ）を **ON** にすると、縦横にガイド線が表示され、構図が決めやすくなります。

OFF　　ON

注意

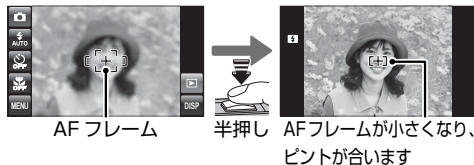
被写体を画面の中央に配置しないときは、必ず AF/AE ロック（→ 38 ページ）を使ってください。AF/AE ロックをしないと、被写体にピントが合わないことがあります。

ピントを合わせて撮影する

1 シャッターボタンを半押しして、AF フレーム内の被写体にピントを合わせます。

AF フレーム

半押し

AFフレームが小さくなり、ピントが合います

ピントが合ったとき

ピピッと音が鳴り、インジケーターランプが緑色に点灯します。

ピントが合わないとき

AF フレームが赤色に変わり、**!AF** が液晶モニターに表示され、インジケーターランプが緑色点滅します。構図を変えるか、AF/AE ロックを使ってください（→ 38 ページ）。

チェック

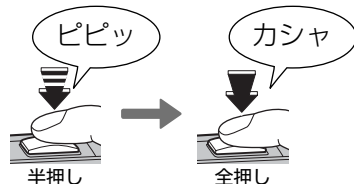
シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

写真が撮影されます。

シャッターボタンの半押しと全押しについて

シャッターボタンを軽く押して、そのまま指を動かさないでいることを「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しすると、ピントと明るさが決まります。

指を放さずにさらに深く押し込む（全押しする）と、写真を撮影できます。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。

チェック

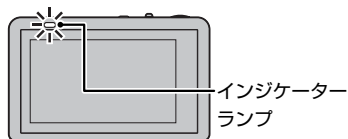
暗い場所では、シャッターボタンを全押ししたときに、フラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないようにフラッシュの設定を変更できます（→ 32 ページ）。

マナーモード

フラッシュ光やシャッター音などを避けたい状況での撮影には「マナーモード」を使います。マナーモードは、撮影メニューの **マナーモード**（→ 78 ページ）を **ON** にします。

マナーモードに設定すると、フラッシュやイルミネーションランプが発光禁止になり（撮影モード を除く）、操作音やシャッター音、動画の再生音が OFF になります。セルフタイマーランプも発光しません。

- マナーモードに設定すると、液晶モニターに が表示されます。
- フラッシュ設定（→ 32 ページ）や音量（→ 92 ページ）を変更したいときは、まずマナーモードを解除してください。

インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

インジケーターランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

メモ：警告表示について

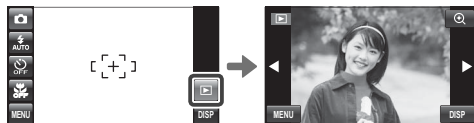
液晶モニターにも、警告表示が表示されます。詳細は 110 ページを参照してください。

基本的な撮影と再生

撮影した画像を見る

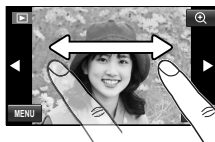
撮影した画像は、液晶モニターで再生できます。大切な写真を撮る前には、試し撮りをして、確認しましょう。

1 撮影画面にある ▶（再生）をタッチします。

最後に撮影した画像（1 コマ再生画面）が表示されます。

2 見たい画像を選びます。

◀ または ▶ をタッチすると、前後の画像が表示されます。

チェック

画面を左右にスクロールしても、前後の画像が表示されます。

シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に戻ります。

不要な画像を消去するには

1 消去したい画像を選び、画像をタッチして３コマ再生表示（→ 46 ページ）にします。

2 🗑をタッチします。

3 消去の確認画面が表示されます。**OK** をタッチします。消去するのをやめたい場合は、**BACK** をタッチします。

チェック

３コマ再生表示の中央の画像をタッチすると、1 コマ再生表示に戻ります。

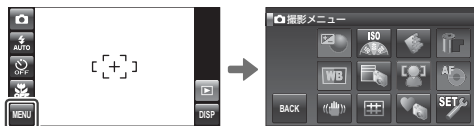
メモ : 消去

メニュー操作でも画像を消去できます（→ 48 ページ）。

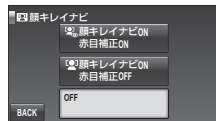
顔キレイナビで撮影する

顔キレイナビを使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。また、赤目（フラッシュ発光によって瞳が赤くなる現象）も補正できます。

1 MENU をタッチします。

撮影メニューが表示されます。

2 （顔キレイナビ）をタッチします。

顔キレイナビ画面が表示されます。

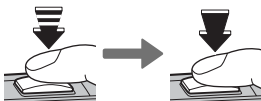
3 設定したい項目をタッチします。

設定	意味
顔キレイナビ ON 赤目補正 ON	顔キレイナビと赤目補正の両方を行います。フラッシュ撮影するときに選びます。
顔キレイナビ ON 赤目補正 OFF	顔キレイナビは行いますが、赤目補正は行いません。
OFF	顔キレイナビと赤目補正のどちらも行いません。

4 被写体に合わせて構図を決めます。

人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。

緑色の枠

カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。

5 撮影します。

緑色の枠内の顔にピントと明るさを合わせて撮影します。

注意

- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- 顔が検出されない場合（→ 105 ページ）は、シャッターボタンを半押ししたときに液晶モニターの中央にピントが合います。
- 顔が検出できないときは、赤目補正されません。
- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

顔キレイナビについて

顔キレイナビとセルフタイマーを組み合わせると、セルフポートレートを撮影するときに便利です (→ 34 ページ)。

顔キレイナビで撮影した画像は再生時に、次のような機能が使えます。

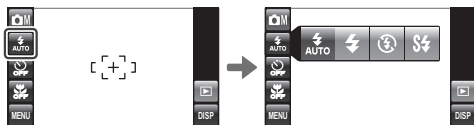
- 赤目補正（→ 55 ページ）
- スライドショー（→ 85 ページ）
- トリミング（→ 53 ページ）

いろいろな撮影

⚡ フラッシュ撮影する（スーパー i フラッシュ）

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

1 フラッシュアイコンをタッチします。

フラッシュ設定メニューが表示されます。

2 設定したいフラッシュをタッチします。

フラッシュ	説 明
⚡AUTO（オートフラッシュ）	ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
⚡（強制発光）	逆光で被写体が暗くなっているときに使います。周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
⊘（発光禁止）	フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。
S⚡（スローシンクロ）	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。

2 構図を決めてピントを合わせます。

チェック

- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに ⚡ が表示されます。
- シャッタースピードが遅く、手ぶれしやすい状態では、液晶モニターに ! が表示されます。フラッシュ設定を ⊘ 以外にするか、三脚をご使用ください。

3 撮影します。

チェック

フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

いろいろな撮影

メモ：スーパーｉフラッシュとは

このカメラは、被写体の位置とカメラとの距離、明るさなどを瞬時に計算して、最適な発光量と感度を自動的に調整する「スーパーｉフラッシュ」を搭載しています。薄暗い室内などでも人物の白とびや背景の黒つぶれを防ぎ、目で見たままに美しく撮影できます。

顔キレイナビが 顔キレイナビ ON 赤目補正 ON のときのフラッシュ設定について

顔キレイナビが **顔キレイナビ ON 赤目補正 ON** のときは、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、AUTO（赤目軽減）、（強制発光）、SLOW（赤目スロー）から設定できます。

AUTO（赤目軽減）は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

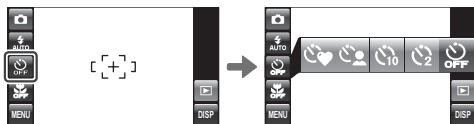
いろいろな撮影

セルフタイマーを使って撮影する

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「恋するタイマー」「みんなでタイマー」「10 秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐ「2 秒後撮影」の 4 種類のセルフタイマーを搭載しています。

セルフタイマーの設定

1 セルフタイマーアイコンをタッチします。

セルフタイマー設定メニューが表示されます。

2 設定したいセルフタイマーをタッチします。

セルフタイマー	内 容
	恋するタイマー
	みんなでタイマー
	10 秒
	2 秒
	OFF

恋するタイマー

二人の顔が近づくと自動的に撮影されます。

セルフタイマー設定メニューで を選び、▲ または ▼ をタッチして撮影するラブ度を設定します。

1：♥
2：♥♥
3：♥♥♥

ラブ度が大きくなるほど、二人の顔を近づけないとカウントダウン（秒読み）が開始されません。二人の顔を近づけて、表示されているすべてのインジケーターが満たされるとカウントダウン（秒読み）が開始され自動的に撮影されます。

メモ

- 自分撮りするときは、マクロに設定してください。
- シャッターボタンを半押しすると、恋するタイマーを解除します。

みんなでタイマー

人数が揃ったときに自動的に撮影されます。

セルフタイマー設定メニューで を選び、▲ または ▼ をタッチして撮影する人数を設定します。

設定できる人数は 1 人から 4 人までです。

設定された人数の顔が認識されると、1 人のときは 1 秒、2 ～ 4 人のときは 2 秒のカウントダウン（秒読み）が開始され自動的に撮影されます。

メモ
- 自分撮りするときは、マクロに設定してください。
- シャッターボタンを半押しすると、みんなでタイマーを解除します。

10 秒後撮影 / 2 秒後撮影

1 セルフタイマー設定メニューで または をタッチします。

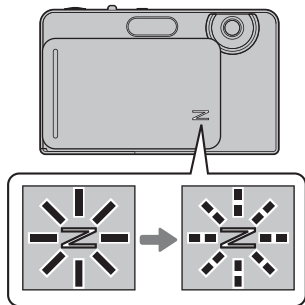
2 構図を決めてピントを合わせます。

3 セルフタイマーを開始します。

シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーが開始します。液晶モニターには、シャッターが切れるまでの秒数が表示されます。

注意
シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならないことがあります。

いろいろな撮影

（10 秒後撮影）では、カメラ前面のセルフタイマーランプ（イルミネーション）が点灯し、撮影直前に点滅します。（2 秒後撮影）では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

カウントダウン終了後、すぐに動かないでください。

顔キレイナビでセルフタイマー撮影する

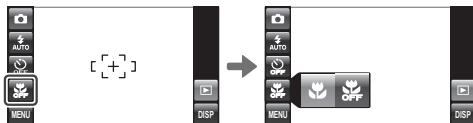
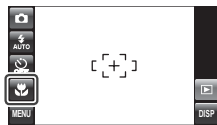
セルフタイマー撮影時に顔キレイナビ（→ 30 ページ）を使うと、事前にピントを合わせなくても、カメラが自動的に人物の顔を検出してピントを合わせます。撮影者を含めた集合写真や自分撮り（セルフポートレート）のときに便利です。

顔キレイナビでセルフタイマー撮影するには、**MENU** をタッチして、顔キレイナビを選びます。シャッターボタンを全押しすると、撮影までの間に顔を検出し、シャッターがきれる直前にピントと明るさを合わせます。

近距離撮影する（マクロ）

被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。

1 マクロモードアイコンをタッチします。

マクロ設定メニューが表示されます。

2 をタッチします。

マクロに設定すると、アイコンの表示が になります。

3 構図を決めてピントを合わせます。

☛ **チェック**

ズーム（**W**/**T**）レバーを使うと、構図を調整できます（→26 ページ）。

4 撮影します。

マクロを解除するには、もう一度マクロ設定画面を表示して、OFF をタッチします。

☛ **チェック**

- マクロ撮影時は手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。
- マクロ撮影時には、ピントは中央付近に固定されます。

AF/AE ロック撮影する

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1 ピントを合わせたい被写体に AF フレームを合わせます。

2 シャッターボタンを半押しします。

被写体にピントが合い、インジケーターランプが緑点灯します。

☛ **チェック**

シャッターをきる前なら、AF/AE ロックは何度でもやり直せます。

3 半押ししたまま構図を変えます。

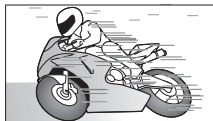
被写体との距離は変えないでください。

4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

いろいろな撮影

オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

鏡や車のボディなど
光沢のあるもの

高速で移動する被写体

その他のオートフォーカスの苦手な被写体 :

- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの（背景と同色の服を着ている人物など）
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

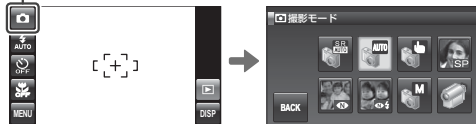
このようなときは、AF/AE ロック機能（→ 38 ページ）をお使いください。

モードを切り換えて撮影する

撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。

撮影モードを設定する

1 撮影時に撮影モードアイコンをタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。

撮影モードアイコン

2 設定する撮影モードのアイコンをタッチします。

アイコン	撮影モード	参照ページ
	SR AUTO シーンぴったりナビ	P.41
	オート	P.40
	タッチショット	P.41
	SP シーンポジション	P.43
	N ナチュラルフォト	P.42
	高感度 2 枚撮り	P.42
	M マニュアル	P.40
	動画	P.61

撮影モードの種類

M マニュアル

撮影機能を、撮影者が設定できます。

オート

カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。操作の流れについては、「（オート）で撮影する」（→ 24 ページ）を参照してください。

SR AUTO シーンぴったりナビ

被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動で撮影シーンを認識し、最適な設定にします。

人物を認識した場合

カメラが最適なシーンを認識すると、画面にシーンアイコンが表示されます。

シーン	内容
	人物：人物を認識した場合に表示されます。
	風景：建物や山などの風景を認識した場合に表示されます。
	夜景：夜景を認識した場合に表示されます。
	マクロ：近接撮影を認識した場合に表示されます。
	逆光＆人物：逆光のときの人物を認識した場合に表示されます。
	夜景＆人物：夜景のときの人物を認識した場合に表示されます。

メモ

シーンを認識しなかった場合は、**AUTO** で撮影されます。

チェック

常にピント合わせを続けるため、レンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、バッテリー残量にご注意ください。

タッチショット

シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタッチして、タッチした場所を撮影します。

■ タッチショットで撮影する

1 撮影モードアイコンをタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。

2 （タッチショット）をタッチします。
撮影画面にタッチショットの枠が表示されます。

3 表示された枠内をタッチして撮影します。
画面に指が触れると、タッチした場所にピントが合い撮影されます。

いろいろな撮影

高感度 2 枚撮り

フラッシュ非発光 / 発光で連続 2 枚撮影します。逆光での撮影など光の調整が難しい撮影での失敗を防ぎます。

フラッシュ非発光

フラッシュ発光

シャッターボタンを押すと、フラッシュを発光させずに目で見たままの雰囲気を活かして 1 枚目を撮影し、その直後にフラッシュを発光させて 2 枚目を撮影します。必ず 2 枚撮影されるので、撮影が終了するまで、カメラを動かさないようにしてください。

チェック

- フラッシュが強制発光しますので、フラッシュ撮影を禁止している場所では使用しないでください。
- マナーモード（→ 28 ページ）に設定していても、フラッシュは発光します。
- メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像 2 枚分以上の空き容量がない場合は撮影できません。

ナチュラルフォト

暗い場面でも、目で見たままの雰囲気を活かした自然な写真になります。室内やフラッシュを使用できない場所での撮影にも適しています。

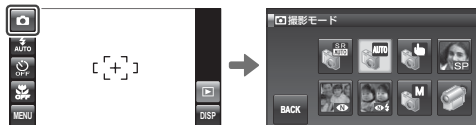
フラッシュは常に発光禁止になりますが、自動的に高感度になるため、暗い場所でも手ブレや被写体ブレを軽減します。

いろいろな撮影

SP シーンポジション

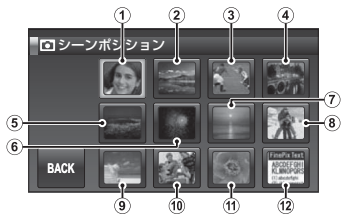
いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションが用意されています。

■ シーンポジションを設定する

1 撮影モードアイコンをタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。

2 （シーンポジション）をタッチします。
シーンポジションメニューが表示されます。

BACK をタッチすると、撮影モードの選択画面に戻ります。

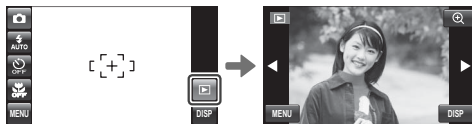
3 設定したいシーンポジションのアイコンをタッチします。

■ シーンポジションの種類

アイコン	シーン	機 能
①	人物	人物の撮影に適しています。肌の色が自然で、ソフトな印象の写真になります。
②	▲ 風景	昼間の風景撮影に適しています。建物や山などの風景をくっきりと仕上げます。
③	スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。シャッタースピードは高速になります。
④	夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。自動で高感度になるため、手持ち撮影で発生しやすい手ブレを軽減します。
⑤	夜景（三脚）	夜景の撮影に適しています。スローシャッターでの撮影が行われます。手ブレ防止のために三脚のご使用をおすすめします。
⑥	花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。手ブレ防止のため三脚のご使用をおすすめします。◀ または ▶ をタッチすると、シャッタースピードを任意で設定できます。
⑦	夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
⑧	スノー	白く輝く雪景色で画像が暗くなるのを防ぎ、明るく、くっきりと撮影します。
⑨	ビーチ	日差しの強い浜辺で画像が暗くなるのを防ぎ、明るく、くっきりと撮影します。
⑩	Y パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。薄暗い場所でも雰囲気を活かした自然な写真になります。
⑪	✲ 花の接写	花に近づいて撮影するときに使用します。花びらの色を鮮やかに撮影できます。 ピントが合う範囲は マクロになります。
⑫	TEXT 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。文字をはっきりと撮影します。 ピントが合う範囲は マクロになります。

いろいろな撮影

撮影した画像を再生する

1コマ再生

▶ をタッチすると、最後に撮影した画像が表示されます（1コマ再生）。

◀ または ▶ をタッチすると、前後の画像が表示されます。

チェック

- 画面を左右にスクロールしても、前後の画像が表示されます。

- 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに 🎁（プレゼントアイコン）が表示されます。

文字の表示をオン・オフする

1コマ再生時に **DISP** をタッチすると、液晶モニターの表示が次のように切り換わります。

文字表示あり　　文字表示なし

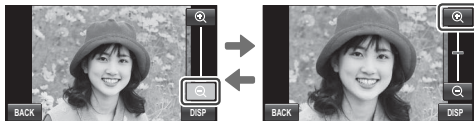
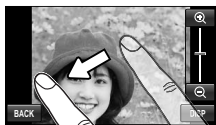
再生ズーム

1コマ再生中に画像をズーム（拡大）できます。

1 1コマ再生時に 🔍 をタッチして、ズームバーを表示させます。

ズームバー

2 ズームバーの 🔍+ と 🔍- でズーム操作を行います。

ズームバーの 🔍- をタッチすると縮小します。　ズームバーの 🔍+ をタッチすると拡大します。

画像の拡大表示中に画像をドラッグすると、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。

再生ズームを解除するには、**BACK** をタッチします。

メモ：ズームレバー

ズームレバーを **T** 側に動かすとズームバーが表示されます。ズームバーでもズーム操作が行えます（→ 26 ページ）。

チェック

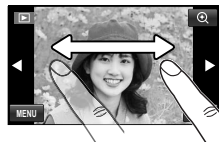
- 一定時間が経過して、ズームバーが消えてしまった場合は、画像をタッチしてください。
- 最大ズーム倍率は、設定した **ピクセル**（→ 81 ページ）によって変わります。

３コマ再生

１コマ再生時に画像をタッチすると、３コマ再生画面が表示されます。

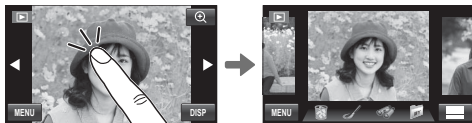
左右の画像をタッチすると、前後の画像が表示されます。

チェック

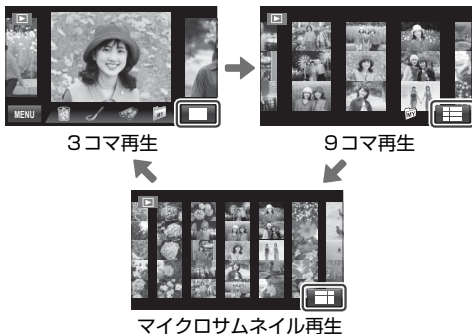
- 画面を左右にスクロールしても、前後の画像が表示されます。

- ３コマ再生画面の中央の画像をタッチすると、１コマ再生画面に戻ります。

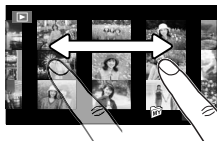
マルチ再生する

９コマ、マイクロサムネイルの一覧を表示して、見たい画像を選べます。

1 １コマ再生時に画像をタッチして、３コマ再生表示にします。

2 ▦をタッチして表示を切り換えます。

▦をタッチするごとに、３コマ再生、９コマ再生、マイクロサムネイル再生が切り換わります。

３コマ再生　９コマ再生

マイクロサムネイル再生

９コマ再生、マイクロサムネイル再生時に画面を左右にスクロールすると、表示する画像を切り換えられます。

メモ：再生表示画面の切り換え

- ９コマ再生またはマイクロサムネイル再生時に画像をタッチすると、３コマ再生表示になります。
- ９コマ再生またはマイクロサムネイル再生時に ▶ ボタンを押すと、１コマ再生表示になります。

チェック

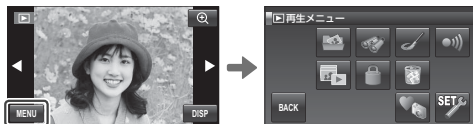
- プライベートフォルダを選択している場合は、プライベートフォルダを含む全フォルダの画像がマイクロサムネイル再生されます。
- マイクロサムネイル再生時に画像をタッチして３コマ再生表示すると、その画像があるフォルダが操作中のフォルダになります。

画像を消去する

再生メニューでは、画像を1コマだけ消去したり、内蔵メモリーやメモリーカード内の画像をすべて消去できます。**誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。**3コマ再生画面での画像の消去については、29ページを参照してください。

再生メニューで1コマ消去する

再生メニューから画像を消去できます。

1 再生時に **MENU** をタッチします。
再生メニューが表示されます。

2 （消去）をタッチします。
消去画面が表示されます。

3 **1コマ**をタッチします。
1コマ消去画面が表示されます。

4 左右の画像をタッチするか、画面を左右にスクロールして、消去する画像を選びます。

5 **消去**をタッチします。
確認画面が表示されます。

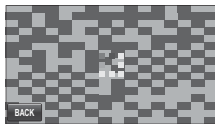
6 **OK** をタッチします。
選んだ画像が消去されます。消去を中止する場合は、**BACK** をタッチします。

手順4～6を繰り返すと、続けて画像を消去できます。消去を終了する場合は **BACK** をタッチします。

すべてのコマを消去する

1 前ページの手順 3 で**全コマ**をタッチします。
全コマ消去画面が表示されます。

2 **OK** をタッチします。
すべての画像が消去されます。消去を中止する場合は、**BACK** をタッチします。

消去中は、右のような画面が表示されます。全コマ消去を中止するには、**BACK** をタッチします。

注意

BACK をタッチして消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

メモ : 画像の消去

- **全コマ**で消去される画像は、現在、表示しているフォルダ内の画像のみです。
- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (→ 86 ページ)。

画像加工

画像をさまざまな方法で加工できます。3コマ再生画面（→ 46 ページ）で をタッチすると、**画像加工**メニューが表示されます。

表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

次のような画像加工ができます。

画像加工	意味
レイアウトフォト	複数の画像の組み写真を合成します。
画像回転	画像を回転させます。
トリミング	画像の必要な部分だけを切り抜きます。
リサイズ	画像のサイズを変更します。
赤目補正	顔キレイナビで撮影した画像の赤目を補正します。

メモ：画像加工

画像加工は再生メニューからも選択できます（→ 83 ページ）。

組み写真を作る（ レイアウトフォト）

1 **画像加工**メニューの **レイアウトフォト**をタッチします。

表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

2 使用するレイアウトフォトのテンプレートをタッチします。

3 右側の画像を上下にドラッグしながらレイアウトフォトに使用する画像を選び、枠内にドラッグします。

いろいろな再生

4 テンプレート枠に組み込んだ画像をタッチすると画像の調整ができます。

- **時計回りに 90°回転**：をタッチして画像を回転できます。
- **拡大 / 縮小**：または をタッチして、画像を拡大・縮小できます。
- **位置の調整**：画像を枠内でドラッグして、画像の表示位置を調整できます。

チェック

- 選んだテンプレートによっては、画像を調整できない画像があります。

5 手順３～４を繰り返し、すべてのテンプレート枠へ組み込みが完成したら **OK** をタッチします。

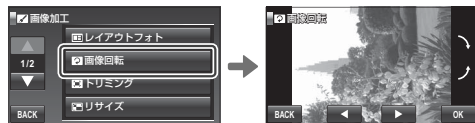
レイアウトフォトの合成を中止する場合は **BACK** をタッチします。

6 作成するサイズをタッチします。

選んだサイズでレイアウトフォトが別ファイルとして保存されます。

画像を回転する（画像回転）

1 **画像加工**メニューの **画像回転**をタッチします。

表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

◀ または ▶ をタッチすると、画像回転する画像を切り換えられます。

2 ↘ または ↗ をタッチして画像を回転します。

- ↘：時計回りに 90° 回転
- ↗：反時計回りに 90° 回転

メモ：画像の回転

画像をタッチしてから、画像を時計回り、または反時計回りにドラッグしても回転できます。

3 **OK** をタッチします。

画像回転を中止する場合は **BACK** をタッチします。

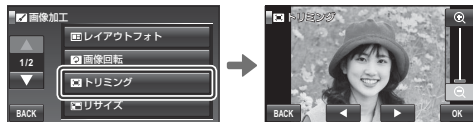
回転された画像は、自動的に別保存されます。次に同じ画像を再生させると、回転された画像が表示されます。

チェック

他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。

画像を切り抜く（トリミング）

1 **画像加工**メニューの **トリミング**をタッチします。

表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

◀ または ▶ をタッチすると、トリミングする画像を切り換えられます。

2 🔍+ または 🔍− をタッチして、切り抜きたい大きさに調整します。

☛ チェック

一定時間が経過して、ズームバーが消えてしまった場合は、画像をタッチしてください。

3 画像をドラッグして切り抜きたい位置に移動します。切り抜きたい部分が青色枠で表示されます。

4 **OK** をタッチします。

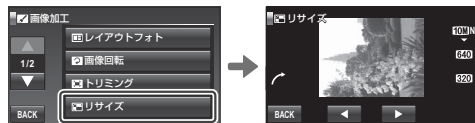
- トリミングされた画像が別ファイルとして保存されます。
- トリミングを中止する場合は **BACK** をタッチします。

☛ チェック

拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。

画像のサイズを小さくする（ リサイズ）

1 **画像加工**メニューの **リサイズ**をタッチします。

表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

◀ または ▶ をタッチすると、リサイズする画像を切り換えられます。

2 変更する画像サイズ（320 または 640）をタッチします。

- リサイズされた画像が別ファイルとして保存されます。
- リサイズを中止する場合は **BACK** をタッチします。

メモ：画像の回転

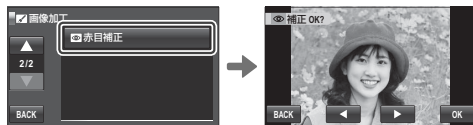
必要に応じてリサイズされた画像の向きを変更できます。

をタッチして画像を時計回りに 90°回転します。

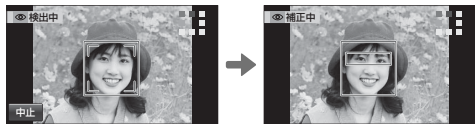
赤目画像を補正する（赤目補正）

顔キレイナビ (→ 30 ページ) で撮影した画像（が表示されている画像）の赤目を補正できます。

1 **画像加工**メニューの **赤目補正**をタッチします。

表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

◀ または ▶ をタッチすると、赤目補正する画像を切り換えられます。

2 **OK** をタッチします。

赤目を検出してから検出された赤目が補正されます。

- 赤目補正が完了すると、赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。
- 赤目補正を中止する場合は**中止**をタッチします。

チェック

- 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 他のカメラで撮影した画像（が表示されている画像）は、赤目補正できません。
- 赤目補正済みの画像（が表示されている画像）は、それ以上赤目補正できません。

いろいろな再生

ピクチャーサーチ

さまざまな条件で、画像を検索できます。

1 3コマ再生画面（→ 46 ページ）で をタッチします。

ピクチャーサーチ画面が表示されます。

メモ：ピクチャーサーチ

ピクチャーサーチは再生メニューからも選択できます（→ 83 ページ）。

2 検索条件を選びます。

検索条件の項目をタッチします。

検索条件	内容
日付で検索	指定した撮影日の画像を表示します。
顔で検索	指定した顔の情報を使って画像を表示します。
撮影シーンで検索	指定した撮影シーンの画像を表示します。
画像タイプで検索	静止画または動画を表示します。

3 検索条件を絞り込みます。

絞り込む条件を選ぶと、条件に合った画像だけが表示されます。

条件を変更する場合は、条件が表示されているタブをタッチします。**BACK** をタッチすると、一つ前の画面に戻ります。

チェック

検索されるフォルダは操作中のフォルダのみです。

4 検索画像を中央の列に表示させます。

サムネイル移動ダイアルを左右にドラッグすると、表示されている画像の列が移動します。

サムネイル移動ダイアル

5 中央の列の画像をタッチします。

◀ または ▶ をタッチすると、前後の画像が表示されます。

OK をタッチすると、検索が終了します。**BACK** をタッチすると、検索結果のサムネイル一覧（手順 4）に戻ります。

検索した画像を消去する

1 検索結果が表示されている画面（手順 5）で 🗑 をタッチします。

消去の確認画面が表示されます。

2 **OK** をタッチすると、画像が消去されます。

消去を中止する場合は、**BACK** をタッチします。

検索した画像を移動 / コピーする

1 検索結果が表示されている画面（手順 5）で📁をタッチします。

フォルダ管理画面が表示されます。

2 ◀ または ▶ をタッチして移動またはコピーしたい画像を表示させます。

チェック

この画面では、画面を左右にスクロールして画像を切り換えることはできません。

3 **移動**または**コピー**をタッチします。

4 画像をタッチすると、その画像のサムネイルが表示されます。サムネイルを移動 / コピー先のフォルダにドラッグ＆ドロップします。

フォルダ管理

撮影した画像をフォルダに分けることができます。

再生するフォルダを表示する

1 ３コマ再生画面（→ 46 ページ）でフォルダ管理アイコンをタッチします。
フォルダ管理画面が表示されます。

2 表示するフォルダをタッチします。
OK をタッチすると、１コマ再生画面に戻ります。

内蔵メモリー
マイピクチャー　（110_FUJI）
テーマ１　（101FETC1）
テーマ２　（102FETC2）
プライベート　（100FPRIV）
※ () 内はメモリーカード内の初期値のフォルダ名です。

メモ：フォルダ管理
フォルダ管理は再生メニュー（→ 83 ページ）からも選択できます。

チェック
- メモリーカードが挿入されていない場合は、フォルダ管理はできません。
- 他のカメラで撮影されたメモリーカードを挿入した場合、フォルダ構成が異なる場合があります。

パスワード設定
（プライベート）フォルダ内の画像を再生、コピー、移動するときは数字４桁のパスワードを入力する必要があります。

＋または－をタッチして、４桁のパスワードを設定します。

チェック
- ご使用のカメラのみのロック機能で、暗号化などの機能はありません。
- プライベートフォルダは、他のカメラでは通常のフォルダと同じように再生できます。
- パスワードを忘れたときはセットアップメニューの **パスワード設定**で再設定してください（→ 89 ページ）。

いろいろな再生

画像を移動する

1 移動する画像があるフォルダを選択します。

2 ◀または▶をタッチして、移動する画像を表示します。

チェック

この画面では、画面を左右にスクロールして画像を切り換えることはできません。

3 **移動**をタッチします。

4 移動する画像を移動先のフォルダにドラッグ＆ドロップします。

画像をコピーする

1 コピーする画像があるフォルダを選択します。

2 ◀または▶をタッチして、コピーする画像を表示します。

チェック

この画面では、画面を左右にスクロールして画像を切り換えることはできません。

3 **コピー**をタッチします。

4 コピーする画像をコピー先のフォルダにドラッグ＆ドロップします。

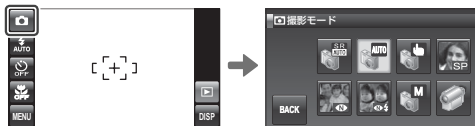
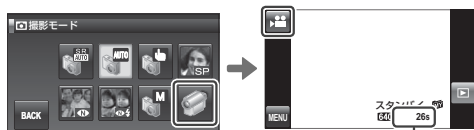
注意

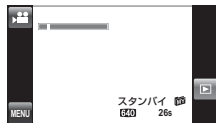
コピー先の空き容量がなくなると、コピーを終了します。

動画の撮影と再生

動画を撮影する

音声付きのMotion JPEG形式の動画を撮影できます。

1 撮影モードアイコンをタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。

2 （動画）をタッチします。
撮影モードアイコンが になり、動画撮影画面が表示されます。

撮影可能時間が表示されます。

3 ズームレバーで、ズーム操作をします。

4 シャッターボタンを全押しして、動画撮影を開始します。
撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

撮影中は、●RECの文字と残り時間のカウントダウンが表示されます。

5 もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了します。

残り時間がなくなるか、内蔵メモリーまたはメモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

注意

メモリーカードに記録中はインジケーターランプが点灯します。動画撮影中またはインジケーターランプ点灯中にカードは抜かないでください。撮影した動画が再生できなくなります。

チェック

- 撮影開始と同時にピントが固定されますが、露出とホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。撮影した動画の色と明るさが、撮影前の液晶モニターの表示と異なることがあります。
- 動画の撮影を連続で 10 分行うと、自動的に液晶モニターが暗くなります。
- 動画の撮影形式は、モノラル音声付き Motion JPEG 形式です。

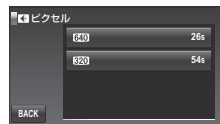
注意

- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。
- ズーム操作は撮影を開始する前に行ってください。撮影中はズームは変えられません。

動画撮影の設定

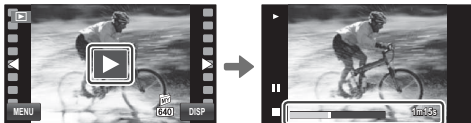
動画撮影画面で **MENU** をタッチすると、**ピクセル**、**ブレ防止**（→ 25 ページ）、**マナーモード**（→ 28 ページ）を設定できます。

ピクセルでは、動画の画像サイズを設定できます。動画の画像サイズは、640（640 × 480 ピクセル、画質重視）または 320（320 × 240 ピクセル、記録時間重視）から選択します。

動画の撮影と再生

▶ 動画を再生する

1 １コマ再生画面で動画を選択します。

2 画面中央の ▶ をタッチします。

動画が再生されます。

動画再生中は、再生時間と進行状況を示すバーが表示されます。

注意

- スピーカーを指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。
- 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。

動画の再生

３コマ再生画面の ▶ をタッチしても動画は再生できます。

動画再生時の操作方法について

動画再生中は、画面左下のアイコンで操作します。

機能	アイコン	説明
再生	▶	再生を開始します。再生が終了すると停止します。
停止	⏸	再生を一時停止します。
一時停止	■	再生を停止します。

画像をパソコンに転送する

パソコンと接続する

付属のソフトウェア FinePixViewer を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。また、インターネットに接続できる環境があれば、デジカメプリントを注文する（Windows のみ）こともできます。カメラとパソコンを接続する前に、FinePixViewer をパソコンにインストールしてください（最新の FinePixViewer は、http://fujifilm.jp/ からダウンロードできます）。インストール前にカメラをパソコンに接続すると、正常に接続できなくなる場合があります。

Windows に FinePixViewer をインストールする

1 インストールの前に、お使いのパソコンが次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境	推奨環境	
OS	Windows Vista、Windows XP Home Edition（SP2）、Windows XP Professional（SP2）、Windows 2000 Professional（SP4）（すべてプリインストールされたモデルのみ。）	Windows Vista	Windows XP
CPU	Pentium 200 MHz 以上（Windows Vista/XP の場合は、Pentium 4/ 800 MHz 以上）	Pentium4/ 3 GHz 以上	Pentium4/ 2 GHz 以上
メモリ	128 MB 以上（Windows Vista/XP の場合は 512 MB 以上）	1 GB 以上	512 MB 以上
ハードディスク空き容量	**インストールに必要な容量**：450 MB 以上 **動作に必要な容量**：600 MB 以上	15 GB 以上	2 GB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、16 ビットカラー以上	1024 × 768 ドット以上フルカラー	
その他	・本体標準の USB ポート。その他の USB ポートは動作保証外 ・画像ネットサービス、メール添付機能使用時に、インターネット接続ができる環境（通信速度 56kbps 以上推奨）が必要		

☛ チェック

FinePixViewer CD-ROM のラベル上部には、お手元の CD-ROM のバージョンが記載されています。ソフトウェアのアップデート対象バージョンの確認時やお問い合わせの際に必要な情報です。

注意

前ページ以外の Windows OS では使用できません。自作パソコンや、OS をアップグレードしたパソコンは、動作保証外です。

2 パソコンを起動します。

コンピューターの管理者アカウント（例えば、「Administrator」）でログインしてください。

3 起動中のアプリケーションを終了して、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。

インストーラーが自動で起動します。

Windows Vista をお使いの方へ

同梱の CD-ROM をパソコンに入れたときに「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、**SETUP.EXE の実行**をクリックしてください。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されるので、**許可**をクリックしてください。

インストーラーを手動で起動する

インストーラーが自動起動しない場合は、手動で起動させます。

1 **マイコンピュータ**を開きます。
- Windows Vista/XP：スタートメニューから**コンピュータ**（Windows XP では、**マイコンピュータ**）をクリックします。
- Windows 2000 Professional：デスクトップの**マイコンピュータ**アイコンをダブルクリックします。

2 **FINEPIX** の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。「FINEPIX」ウィンドウが表示されます。

3 **SETUP** または **SETUP.exe** をダブルクリックします。

4 **FinePixViewer のインストール**をクリックします。

画面の指示にしたがってソフトウェアをインストールしてください（Windows Media Player、QuickTime、DirectX が CD-ROM の中身よりも古いバージョンの場合は、これらのソフトウェアをインストールします）。

5 「FinePixViewer のインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、CD-ROM をパソコンから取り出し、**再起動**ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」（→ 70 ページ）に進んでください。

チェック

CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Windows から FinePixViewer をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に FinePixViewer を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」（Windows Vista）または「プログラムの追加と削除」（Windows XP/2000）で FinePixViewer、FinePix Resource、FinePix Studio を削除してください。
2 確認ダイアログが表示されたら、メッセージをよくお読みの上、**OK** をクリックしてください。

Mac OS X に FinePixViewer をインストールする

1 お使いのパソコンが、次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境
CPU	PowerPC または Intel processor
OS	Mac OS X（バージョン 10.3.9 ～ 10.4） （すべてプリインストールされたモデルのみ。）
メモリ	256MB 以上
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量：200MB 以上 動作に必要な容量 400MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、約 32,000 色以上
その他	• 本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外 • 画像ネットサービス、メール添付機能使用時に、インターネット接続ができる環境（通信速度 56kbps 以上推奨）が必要

※ 最新の対応 OS については、下記のホームページを参照してください。
http://fujifilm.jp/

チェック

FinePixViewer CD-ROM のラベル上部には、お手元の CD-ROM のバージョンが記載されています。ソフトウェアのアップデート対象バージョンの確認時やお問い合わせの際に必要な情報です。

2 パソコンを起動して、起動中のアプリケーションを終了します。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、**FinePix** アイコンが表示されます。**FinePix** アイコンをダブルクリックし、続いて **Installer for MacOSX** をダブルクリックします。

4 **FinePixViewer のインストール**をクリックします。

画面の指示にしたがって、ソフトウェアをインストールします。管理者パスワードの入力画面が表示されたら、管理者名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

5 再起動後、「FinePixViewer のインストールが完了しました」というメッセージが表示されます。**終了**をクリックしてください。

QuickTime が CD-ROM の中身よりも古いバージョンの場合は、FinePixViewer のインストールの終了後に、QuickTime をインストールします。

6 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

注意

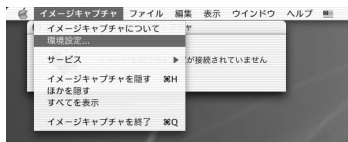
Web ブラウザに Safari をご使用の場合、CD-ROM を取り出す際に、「ディスク“FinePix”は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。

その場合は、Dock 内にある Safari のアイコンをクリックして起動し、アプリケーションメニューの **Safari** − **Safari を終了**を選択して終了させてから、CD-ROM を取り出します。

FinePixViewer の自動起動について

カメラを接続したとき、FinePixViewer を自動起動させるには、

1 **アプリケーション**フォルダから**イメージキャプチャ（Image Capture）**を起動します。

2 **イメージキャプチャ**メニューより**環境設定**を選択します。

3 **カメラを接続したときに起動する項目**から**その他**を選択します。

4 **アプリケーション**フォルダから **FPVBridge** を選択し、**開く**ボタンをクリックします。

5 イメージキャプチャを終了します。

これでインストールは終了しました。続いて、70 ページの「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。

チェック

CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Mac OS X から FinePixViewer をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に FinePixViewer を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 アプリケーションフォルダにインストールされた FinePixViewer フォルダをドラッグして、「ゴミ箱」に入れます。

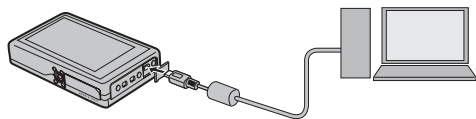
2 Finder メニューの**ゴミ箱を空にする**を選びます。

カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。Windows パソコンをお使いの場合は、Windows の CD-ROM が必要になることがありますので、あらかじめご用意ください。

1 FinePixViewer をインストールしたパソコンを起動します。

2 カメラの電源をオフにします。

3 付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

☛ チェック

USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

4 カメラ上部の ▣ ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。

5 画像を転送します。

FinePixViewer が自動的に起動するので、画面の指示にしたがって画像をパソコンにコピーします。転送を中止して終了するには、**キャンセル**をクリックします。

6 カメラとパソコンの接続を外します。

画像の保存が終了すると、カメラ / メディアの取り外し画面が表示されます。画面の指示にしたがって、カメラの電源をオフにしてからカメラとパソコンの接続を外してください。

注意

- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカードまたは内蔵メモリー内のデータが破壊されることがあります。
- 内蔵メモリーの画像を転送する場合は、メモリーカードを取り出してください。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、FinePixViewer の起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケーターランプが消灯していることを確認してください。
- カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリーのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
  - カメラの電源をオフにする
  - USB ケーブルを抜く
  - メモリーカードを抜く
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行なってください。
- FinePixViewer が自動起動しないときは、ソフトウェアが正しくインストールされていない可能性があります。パソコンとカメラの接続を外して、ソフトウェアを再インストールしてください。
- FinePixViewer でネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

チェック

パソコンとの接続時には、一定時間内に操作を行なわなくても、カメラは自動電源 OFF しません。

FinePixViewer の使い方、トラブルシューティング、オンライン Q&A については、FinePixViewer のヘルプを参照してください。

Fotonoma（フォトノマ）について

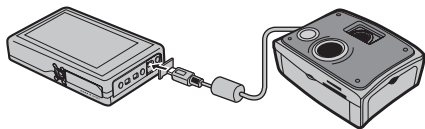
パソコンにインストールした FinePixViewer を起動すると、ユーザー登録画面が表示されます。ユーザー登録すると、製品サポートだけではなく、FUJIFILM の写真関連ポータルサイト「Fotonoma」（http://fotonoma.jp）への登録もできます。

ユーザー登録方法や Fotonoma についての詳しい情報は、付属の「Fotonoma ご案内ガイド」を参照してください。

プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。

プリンターに接続する

1 付属の USB ケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。

2 カメラ上部の ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。

液晶モニターに USB が表示され、その後ピクトブリッジ画面が表示されます。

その場で選んでプリントする

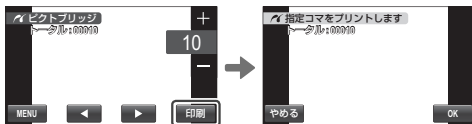
1 ◀ または ▶ をタッチしてプリントしたい画像を選びます。

2 ＋または－をタッチして、プリント枚数を指定します。

最大 99 枚まで設定できます。

3 手順 1 と 2 を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。

4 **印刷**をタッチします。

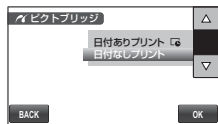
確認画面が表示されます。

5 **OK** をタッチします。

プリントが開始されます。プリントを中止する場合は、**やめる**をタッチします。

チェック

- プリント枚数を 1 枚も指定せずに**印刷**をタッチすると、表示中の画像が 1 枚プリントされます。
- お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。

メモ：日付を入れてプリントする

撮影した日付を入れてプリントするには、手順 1 または 2 で**設定**をタッチします。ピクトブリッジの設定画面が表示されますので、**日付ありプリント** を選びます。

- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント**を選びます。
- 日付プリントするには、撮影時にカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント** が選べません。

赤外線通信 (IR) で通信する

赤外線通信で画像を送受信する

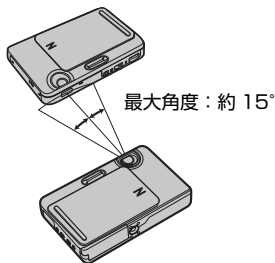
高速赤外線通信機能を持つ弊社製デジタルカメラ、デジカメプリントシステム「PrinCiao EX」プリンター、その他の機器、および IrSimple 機能を搭載した携帯端末と通信して、画像を送受信できます。赤外線通信では高速赤外線通信機能を持つ機器と通信して、画像を送受信できます。

赤外線通信を行う前に

1 カメラと通信先機器の電源を入れます。

2 カメラと機器を 5 〜 20cm 離します。

3 カメラの赤外線通信ポートを、通信先の機器の赤外線通信ポートの正面に向けます。

このとき、両ポートの角度は 15°未満にします。

メモ：赤外線通信設定について

画像の送受信をする前に、カメラのセットアップメニューの **赤外線通信設定**を、通信先の機器が使っている赤外線通信方式に合わせます（→ 89 ページ）。詳細は、機器のマニュアルを参照してください。

メモ：赤外線通信に対応する機器について

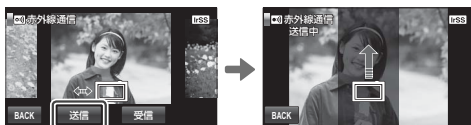
赤外線通信での送受信に対応する機器については、ホームページ（http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/）で紹介しています。互換性情報から、このカメラに関する情報を参照してください。

画像を送信する

1 再生時に **MENU** をタッチします。
再生メニューが表示されます。

2 ●)) をタッチします。
赤外線通信画面が表示されます。

3 表示されている画像を左右にドラッグして送信したい画像を選びます。

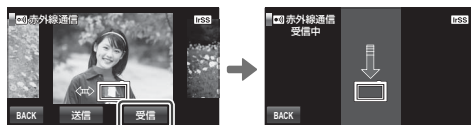
4 **送信**をタッチします。
送信が開始されます。

送信が完了すると、画面に**送信完了**と表示されます。

画像を受信する

1 再生時に **MENU** をタッチします。
再生メニューが表示されます。

2 ●)) をタッチします。
赤外線通信画面が表示されます。

3 送信元のカメラから「画像を送信する」の手順に従って、画像を送信します。

4 **受信**をタッチします。
受信が開始されます。

受信が完了すると、画面に**受信完了**と表示されます。受信した画像には、再生時に 🎁（プレゼントアイコン）が表示されます。

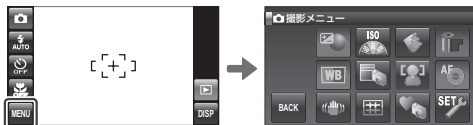
注意

- 受信した画像は、マイピクチャーに保存されます。
- 動画は送受信できません。
- カメラと機器の間に障害物がないこと、赤外線ポートが正しく向き合っていることを確認してください。
- 直射日光の下、または蛍光灯の真下で、赤外線通信をしないでください。
- テレビやビデオのリモコンなど、他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器が近くにあると、正常に通信できないことがあります。
- エラーが表示された場合は、**OK** をタッチしてもう一度送受信を開始するか、**BACK** をタッチして送受信を中止してください。
- カメラと他の機器の間で送受信される画像は、画像サイズが小さくなることがあります。
- 16：9 の画像の場合、プリンターの仕様によってはプリントの上下左右に白線が入ることがあります。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能の設定を変更できます。

撮影メニューの使い方

1 撮影時に MENU をタッチします。
撮影メニューが表示されます。

チェック
メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

2 変更する項目のアイコンをタッチします。

3 変更する設定をタッチします。
表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

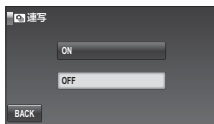
メモ：撮影メニュー
撮影画面で ボタンを押しても、撮影メニューを表示できます。

撮影メニュー一覧

アイコン	メニュー項目	機能	設定	工場出荷時	参照ページ
	露出補正	画像の明るさを調整できます。	−2.0EV～＋2.0EV（1/3EV ステップ）	0	P.79
	感度	光に対する感度を変更できます。	AUTO/1600/800/400/200/100	AUTO	P.81
	ピクセル	撮影する画像の大きさを変更できます。	10M F/10M N/8M 16:9/5M/3M/2M/2M 16:9/03M	10M N	P.81
	FINEPIX カラー	色調を変更できます。	STD/C/B	STD	P.82
	ホワイトバランス	光源による色の違いを調整できます。	AUTO/☀/⛅/蛍1/蛍2/蛍3/電球	AUTO	P.80
	連写	連続撮影ができます。	ON/OFF	OFF	P.79
	顔キレイナビ	人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせます。赤目も補正できます。	/OFF	OFF	P.30
	AF モード	ピントを合わせるエリアを変更できます。	/		P.82
	ブレ防止	手ブレを軽減します。	ON/OFF	ON	P.25
	フレーミングガイド	縦横にガイド線を表示させ、構図を決めやすくできます。	ON/OFF	OFF	P.26
	マナーモード	フラッシュ光やシャッター音、動画の音声などをオフにします。	ON/OFF	OFF	P.28
	セットアップ	カメラの基本的な設定を変更できます。	―	―	P.87

連続撮影する（連写）

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

シャッターボタンを押している間、最大 5 コマを連続して撮影します。

画像の明るさを変える（露出補正）

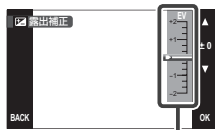
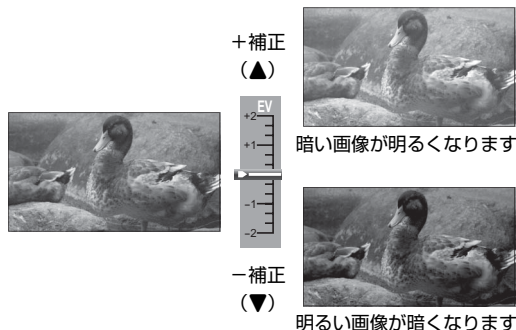
画像の明るさを調整できます。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使います。

露出補正インジケーター

露出補正インジケーターの ▲ または ▼ をタッチして露出を調整します。

＋補正（▲）

暗い画像が明るくなります

－補正（▼）

明るい画像が暗くなります

露出補正の目安

- **逆光の人物撮影：**
  +2/3EV ～ +1 2/3EV

- **スキー場などの反射が強く明るい場所：**+1 EV

- **画像の大部分を空が占める場合：**+1 EV
- **スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合：**－ 2/3EV
- **常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：**－ 2/3EV

チェック

「EV」とは → 114 ページ

チェック

露出補正を±０以外に設定すると、画面に が表示されます。設定した露出補正値は、カメラの電源をオフにした後も保持されます。露出補正を解除するには、± 0 に設定してください。

色合いを調節する（WB ホワイトバランス）

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます（「ホワイトバランス」とは → 115 ページ）。

設 定	説 明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、**AUTO** をおすすめします。
(晴天)	晴天の屋外での撮影用です。
(日陰)	曇天や日陰などでの撮影用です。
(蛍光灯1)	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
(蛍光灯2)	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
(蛍光灯3)	白色蛍光灯の下での撮影用です。
(電球)	電球、白熱灯の下での撮影用です。

人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選んでください。

チェック

- 光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください（→ 32 ページ）。
- 撮影環境によって撮影結果が変わります。撮影後は画像を再生して、色味を確認してください。

画像の大きさを変える（ ピクセル）

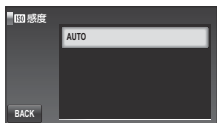
記録する画像の大きさを変更できます。サイズ（ピクセル）が大きいほど画質が良くなり、小さいほどより多くの枚数を記録することができます。

設 定	用 途 例
10M F 10M N	A3、四切（254mm × 305mm）、四切 W サイズ程度でプリントする場合に適しています。画質を優先する場合は 10M F を選んでください。
8M 16:9	縦横比が 16：9 になります。画質を優先する場合に選んでください。
5M	A4、六切（203mm × 254mm）サイズ程度でプリントする場合に適しています。
3M	A5、2L（127mm × 178mm）、DSCW（127mm × 169mm）、HV（89mm × 158mm）サイズ程度でプリントする場合に適しています。
2M	A6、ハガキ、L（89mm × 127mm）、DSC（89mm × 119mm）サイズ程度でプリントする場合に適しています。
2M 16:9	縦横比が 16：9 になります。撮影枚数を優先する場合に選んでください。
03M	電子メールへの画像添付やホームページ掲載に適しています。

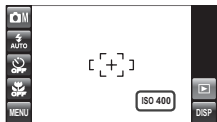
画面のピクセルアイコンの右側に、現在の設定で撮影可能な枚数（→ 116 ページ）が表示されます。

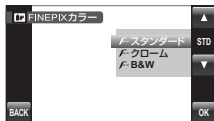
チェック
- 表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。
- **ピクセル**は、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。

感度を変更する（ISO 感度）

光に対する感度を変更できます。感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。

チェック
- 表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。
- **AUTO** に設定すると、被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます。
- **AUTO** 以外に設定すると、撮影画面に設定値が表示されます。

- ISO **感度**は、カメラの電源をオフにしても保持されます。

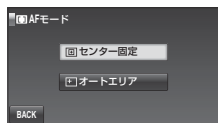
メニューを使いこなす

色調を変更する（FINEPIX カラー）

色調を変更できます。色鮮やかに撮影したり、白黒で撮影できます。

設 定	説 明
F-スタンダード	標準的なコントラストと色味で撮影します。通常はこの設定でお使いください。
F-クローム	鮮やかなコントラストと色味で撮影します。花や青空や深緑などの風景に適しています。
F-B&W	白黒の画像を撮影します。

チェック

- **F-スタンダード**以外に設定すると、画面にアイコンが表示されます。
- 設定した色調は、電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。
- 被写体によっては **F-クローム**の効果がわかりにくい場合や、シーンによっては効果が異なる場合があります。また、画面でも効果がわからない場合もあります。

ピントを合わせるエリアを変える（AF モード）

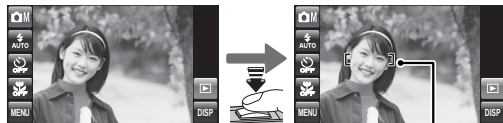
ピント合わせのエリアを変更できます。ただし、マクロ撮影時は、ピントは常に中央付近に固定されます。顔キレイナビが **ON** のときは、AF モードは設定できません。

■ センター固定

画面中央にある被写体にピントを合わせます。AF/AE ロック撮影（→ 38 ページ）と併用すると、より効果的です。

■ オートエリア

シャッターボタンを半押しすると、液晶モニター中央付近にあるコントラストが高い被写体を自動認識して、その被写体にピントを合わせます。

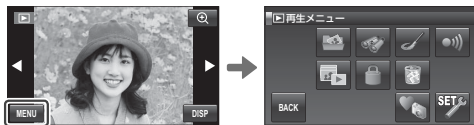
半押し　AF フレーム

メニューを使いこなす

再生の設定を変える — 再生メニュー

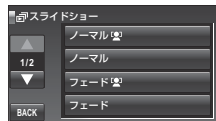
再生時に使う機能を設定できます。

再生メニューの使い方

1 再生時に **MENU** をタッチします。

▶ **再生メニュー**が表示されます。

2 変更する項目のアイコンをタッチします。

3 変更する設定をタッチします。

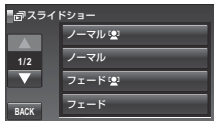
表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

メモ：再生メニュー

再生画面で ボタンを押しても、再生メニューを表示できます。

再生メニュー一覧

アイコン	メニュー項目	機能	参照ページ
	フォルダ管理	撮影した画像をフォルダに分けることができます。	P.59
	ピクチャーサーチ	画像をさまざまな条件で検索できます。	P.56
	画像加工	画像をさまざまな方法で編集できます。	P.50
	赤外線通信	赤外線通信で画像を送受信できます。	P.74
	スライドショー	画像を順番に自動再生します。	P.85
	プロテクト	誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトします。	P.86
	消去	画像を１コマずつ消去したり、全コマをまとめて消去したりできます。	P.48
	マナーモード	フラッシュ光やシャッター音、動画の音声などをオフにします。	P.28
	セットアップ	カメラの基本的な設定を変更できます。	P.87

連続して再生する（スライドショー）

撮影した画像を順番に自動再生します。スライドショーの種類をタッチすると、選択しているフォルダーのスライドショーが開始します。

メニュー項目	機 能
ノーマル / フェード	フェードを選択すると、画像がフェードアウトしながら、切り換わります。
ノーマル / フェード	顔キレイナビ（→ 30 ページ）で撮影した画像の場合は、検出した顔も拡大表示して再生します。
マルチ	複数コマを一度に表示できます。
スクラップブック	ランダムな大きさと配置で複数コマの画像を再生します。
BGM 設定	スライドショー中の BGM を設定できます。

チェック

- 表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。
- 動画は自動的に再生が始まり、再生が終了すると次の画像に進みます。
- スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

画像を保護する（ プロテクト）

画像を誤って消去しないように、大切な画像にプロテクトを設定して保護できます。

■ 設定 / 解除

選んだ画像にプロテクトをかけたり解除したりします。

1 左右の画像をタッチするか、画像を左右にスクロールしてプロテクトする画像または解除する画像を選びます。

プロテクトされていない画像

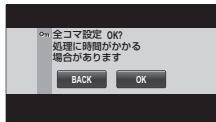
プロテクトされている画像

- プロテクトされていない画像を選んで**設定**をタッチすると、画像にプロテクトを設定します。
- プロテクトされている画像を選んで**解除**をタッチすると、プロテクトを解除します。

2 手順 1 と 2 を繰り返して、必要に応じて他の画像にもプロテクト設定します。

設定を終了するには、**BACK** をタッチします。

■ 全コマ設定

OK をタッチすると、すべての画像がプロテクトされます。

■ 全コマ解除

OK をタッチすると、すべての画像のプロテクト設定を解除します。

☛ チェック

画像の数が多いと、**全コマ設定**や**全コマ解除**に時間がかかることがあります。操作を中止するには、**BACK** をタッチしてください。

注意

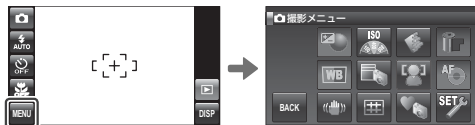
メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット（→ 93 ページ）すると、プロテクトした画像も消去されます。

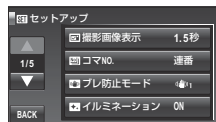
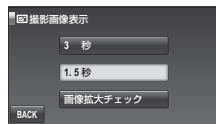
メニューを使いこなす

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

カメラの基本的な設定を変更できます。

セットアップメニューの使い方

1 **MENU** をタッチします。
メニューが表示されます。

2 （セット）をタッチします。

3 変更する項目をタッチします。
表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

4 変更する設定をタッチします。

セットアップメニュー一覧

メニュー項目	機能	設定	工場出荷時	参照ページ
撮影画像表示	撮影直後の確認画面の表示時間を設定します。拡大画面でピントの状態を確認できる**画像拡大チェック**も選べます。	3秒/1.5秒/拡大	1.5秒	P.90
コマ NO.	コマ番号の付けかたを設定します。	連番 / 新規	連番	P.90
ブレ防止モード	ブレ防止の種類を設定します。 1 **常時**では、撮影モードの状態では、常にブレ防止が ON となり、2 **撮影時**では、シャッターボタンを半押しするとブレ防止が ON となります。	1/2	1	P.25
イルミネーション	起動時と撮影完了後にイルミネーションを点灯させるかどうかを設定します。被写体に撮影が完了したことを知らせるときなどに **ON** にします。	ON/OFF	ON	—
デジタルズーム	デジタルズームを使用するかどうかを設定します。	ON/OFF	OFF	P.91
日時設定	日付と時刻を設定します。日時の設定方法については、「初期設定を行う」の手順3以降を参照してください。	—	—	P.22
音量	シャッター音、操作音、再生音の音量を設定します。	—	—	P.92
音色	シャッター音、起動音、操作音の種類を設定します。	—	—	P.92
モニター明るさ	画面の明るさを設定します。	—	0	P.92
フォーマット	内蔵メモリーまたはメモリーカードを初期化します。	—	—	P.93
言語/LANG.	画面に表示する言語を設定します。	日本語 /ENGLISH	日本語	P.22
自動電源 OFF	何も操作していないときに、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。	5分/2分/OFF	2分	P.93
世界時計	時差を設定します。	🏠/✈	🏠	P.94

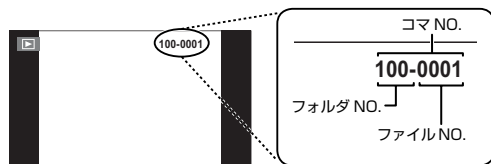
メニュー項目	機能	設定	工場出荷時	参照ページ
赤外線通信設定	赤外線通信の通信方式を選びます。カメラやプリンターとの通信には標準を、テレビとの通信には IrSS を選択します。	**標準 /IrSS**	**標準**	P.74
リセット	**コマ No.**、**日時設定**、**世界時計**以外のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。**OK** をタッチすると実行されます。	—	—	—
パスワード設定	プライベートフォルダ用のパスワードを設定します。	—	—	P.59
キャリブレーション	タッチパネルの位置を調整します。	—	—	P.94
バージョン情報	ファームウェアのバージョン情報を確認します。	—	—	—

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。また、拡大画面を表示してピントの状態を確認できる**画像拡大チェック**も選べます。

メニュー項目	機 能
3 秒	撮影直後、画像が設定した秒数だけ表示され、その後記録されます。 表示される画像は、実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
1.5 秒	
画像拡大チェック	撮影直後に画像が拡大表示されます。**OK** をタッチすると、撮影画像に戻ります。再生時のズーム（拡大）操作については、26 ページをご覧ください。 • ピントが合っているか確認したいときに便利です。 • **連写**が **ON** のとき（→ 79 ページ）と撮影モードが のときは、画像拡大チェックはできません。

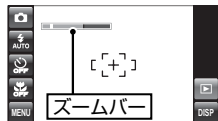
コマ NO.

コマ NO. の付け方を設定します。コマ NO. とは、画像ファイル名に付けられた番号（フォルダ NO. ＋ファイル NO.）のことです。画像の再生中は、次の図のように、コマ NO. が表示されます。

メニュー項目	機 能
連番	メモリーカードまたは内蔵メモリー内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。**連番**に設定すると、ファイル名の重複を防ぐことができます。
新規	新しいメモリーカードを入れる度に、ファイル NO. が 0001 から付けられます。

☛ **チェック**

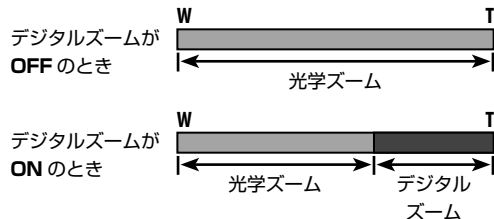
- **リセット**（→ 89 ページ）を行うと、**連番**になりますがコマ NO. はリセットされません。
- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります（→ 111 ページ）。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

デジタルズーム

静止画を撮影しているときに **ON** にすると、光学ズームの望遠端（最大倍率）でズームレバーを **T**(望遠) 側へ動かすことにより、デジタルズームを使用できます。デジタルズームを解除するには、光学ズーム域に入るまで、ズームレバーを **W**(広角) 側へ動かします。

注意

デジタルズームを使うと、光学ズームに比べて画質が劣化します。

■ ズームバー表示

🔊 音量

シャッター音、操作音、再生音の音量を設定できます。変更する音をタッチして、音量を設定します。

■ シャッター音量 / 操作音量

音量の大きさを選び、**OK** をタッチします。

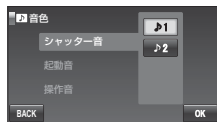
■ 再生音量

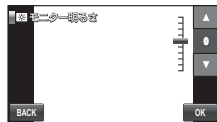
+または**−**で 1 ～ 10 の音量を設定します。**OK** をタッチすると、音量が決定します。

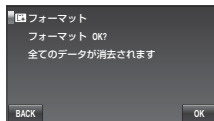
メモ：無音にするには

無音にするときは、🔈OFF を選びます。

♪ 音色

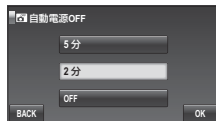
シャッター音、起動音、操作音の音色を設定できます。変更する音をタッチして、音色を設定します。

モニター明るさ

▲ または ▼ で画面の明るさを調整し、**OK** をタッチします。

フォーマット

カメラにメモリーカードが入っているときは、メモリーカードをフォーマットします。メモリーカードが入っていないとき（IN が表示されているとき）は、内蔵メモリーをフォーマットします。**OK** をタッチすると、フォーマットを行います。中止するときは **BACK** をタッチしてください。

注意

- フォーマットすると、プロテクトされている画像を含むメモリーカードまたは内蔵メモリー内のすべてのファイルが消去されます。誤ってフォーマットすると元には戻せません。消去したくない画像は、パソコンにコピーしてください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

自動電源 OFF（オートパワーオフ）

設定した時間（2 分間または 5 分間）カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。**OFF** を選ぶと、電源は自動的にオフにはなりません。バッテリーを長持ちさせたいときは、**OFF** 以外に設定してください。**自動電源 OFF** の設定にかかわらず、プリンターやパソコンと接続しているときやスライドショーの再生中は電源はオフにはなりません。

メモ：再び電源をオンにするには

撮影するときは、レンズカバーを開けます。再生するときは、ボタンを長押しします（→ 21 ページ）。

メニューを使いこなす

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

■ 時差を設定する

1 **現地**をタッチします。
時差設定画面が表示されます。

2 時差を設定します。
左側の**＋**または**ー**をタッチして、現地時間がお住まいの地域より早いか遅いかを設定します。

数字の**＋**または**ー**をタッチして、時差を設定します。時差は 15 分単位で設定できます。

3 **OK** をタッチして、決定します。

現地時間とホームの時間を切り換え

カメラの時計をお住まいの地域の時間に戻すには、世界時計画面で **ホーム**をタッチします。現地時間にするには、**現地**をタッチします。

現地を選ぶと、メニューから撮影画面に戻るたびに、液晶モニターに と日付が約 3 秒間黄色で表示されます。

旅行先から戻ったら、世界時計の設定を必ず **ホーム**に戻して、日時を再確認してください。

キャリブレーション

タッチパネルの位置を調整できます。**キャリブレーション**はタッチペンを使用して行ってください。
画面に表示される青いマーク（**＋**）を順番にタッチしてください。青いマーク（**＋**）以外のところをタッチするとエラーメッセージ画面が表示されます。もう一度青いマーク（**＋**）をタッチしてください。
最後に **OK** をタッチすると、キャリブレーションが完了します。

カメラで使えるアクセサリー

別売アクセサリー

このカメラは、さまざまな富士フイルムおよび他社製品に対応しています。

プリントする

専用USBケーブル（付属品）で接続

PictBridge

ピクトブリッジ対応プリンター（市販品）

プリンター（市販品）

DIGITAL CAMERA
FINEPIX Z300

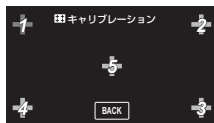
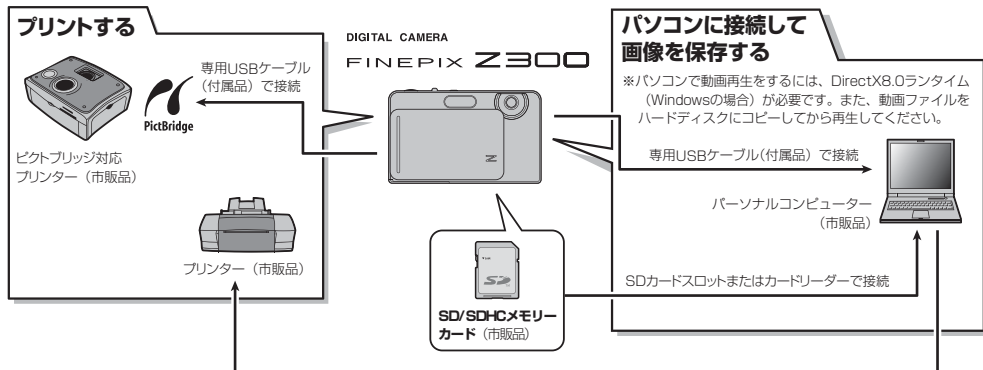
SD/SDHCメモリーカード（市販品）

パソコンに接続して画像を保存する

※パソコンで動画再生をするには、DirectX8.0ランタイム（Windowsの場合）が必要です。また、動画ファイルをハードディスクにコピーしてから再生してください。

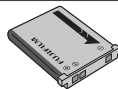
専用USBケーブル（付属品）で接続

パーソナルコンピューター（市販品）

SDカードスロットまたはカードリーダーで接続

* デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます。
* 本製品は PRINT Image Matching Ⅱに対応しています。

別売アクセサリー一覧

このカメラでは、次の富士フイルム製別売アクセサリーを使用できます。

充電式バッテリー NP-45：リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。	
バッテリーチャージャー BC-45：充電式バッテリー NP-45 を短時間で充電します。充電時間は約 100 分（＋ 23℃において）です（AC100V ～ 240V、50/60Hz 対応）。	
AC パワーアダプター AC-5VX：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください（AC100V ～ 240V、50/60Hz 対応）。 このカメラでご使用になる場合は、必ず DC カプラー CP-45 と併用してお使いください。	
DC カプラー CP-45：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時に AC パワーアダプター AC-5VX と併用してお使いください。	

※ 最新情報については、富士フイルムホームページ（http://fujifilm.jp/）をご覧ください。

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警 告

電源プラグを抜く

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。

水ぬれ禁止

内部に水や異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。
そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。

火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。

コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。
- コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。

不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。
転倒、交通事故などの原因になります。

雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。

指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

バッテリーは極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。
電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。
リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。
電池・バッテリーをショートさせない。
電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。
バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

⚠ 警 告

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災の原因になります。

バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

充電器で指定外の電池を充電しない。

他の充電式電池を充電すると、液もれ、発熱、破裂の原因になります。

バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。

他の金属物と混じると発火、破裂の原因となります。

メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。

メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注 意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

小さいお子様の手の届くところに置かない。

けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。

本機や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。

充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

コンセントにつけたままにしておくと火災の原因となることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。

一時的に視力に影響することがあります。
特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。

本機の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。
・2 年に 1 度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液もれ、発熱・発火の恐れがあります。

※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。

■充電について

- 付属の充電器を使用して充電できます。充電は周囲の温度が 0℃～＋ 40℃の範囲で可能です。充電時間については、本文をご参照ください。
- 充電は＋ 10℃～＋ 35℃の温度範囲で行ってください。＋ 10℃～＋ 35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。
- 0℃以下の温度では充電できません。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。周囲の温度が＋ 15℃～＋ 25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
- 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

危険ですので、次のことにご注意ください

バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「有限責任中間法人 JBRC」のホームページをご参照ください。http://www.jbrc.net/hp/

■AC パワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

必ず専用の AC パワーアダプター（別売、JEITA 規格、極性統一形プラグ付き）をお使いください。弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因となることがあります。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ご注意：CD-ROM のパッケージ開封前に必ずお読みください。

富士フイルム株式会社がお客様に提供する CD-ROM のパッケージ開封前に必ず本ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。お客様は、本ソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合にのみ、CD-ROM に記録されたソフトウェアを使用できます。お客様が CD-ROM のパッケージを開封された場合、お客様は本ソフトウェア使用許諾契約書に同意されたものとみなします。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様と富士フイルム株式会社（以下富士フイルムといいます）は、富士フイルムがお客様に提供する CD-ROM に記録されたソフトウェアの使用につき、以下のとおり契約します。富士フイルム以外の事業者のソフトウェアで、本契約とは別の使用許諾契約が付されたソフトウェアの使用については、当該使用許諾契約の規定が本契約に優先するものとします。

1. 定義

（1）本 CD-ROM とは、富士フイルムがお客様に提供する CD-ROM「Software for FinePix」を指します。

（2）本ソフトとは、富士フイルムがお客様に提供する、本 CD-ROM に記録されたソフトウェアを指します。

（3）関連資料等とは、富士フイルムがお客様に提供する本ソフトの使用説明書その他本ソフトに関する資料を総称して指します。

（4）本製品とは、富士フイルムが提供する本 CD-ROM と関連資料等を総称して指します。

2. 使用権の許諾

富士フイルムはお客様に対し、本ソフトに関する以下の非独占的、譲渡不能の権利を許諾します。

① 機械読み取り可能な形式で、1台のコンピュータに本ソフトをインストールし、使用する権利

② バックアップ目的にて本ソフトを1部に限り複製する権利

3. 禁止事項

（1）お客様は富士フイルムの事前の書面による承諾なく、本ソフト、本 CD-ROM および関連資料等の第三者への譲渡、貸与または占有の移転その他の処分をし、また富士フイルムより許諾された権利を第三者に再許諾等してはいけません。

（2）お客様は、本契約にて明示的に認められた場合を除き、本ソフトおよび関連資料等を複製してはいけません。

（3）お客様は、本ソフトおよび関連資料等を改変・変更・翻案し、また本ソフトおよび関連資料等に付された著作権表示その他財産権の表示を削除してはいけません。

（4）お客様は、本ソフトのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをしてはいけません。また第三者をしてこれらの行為をさせてはいけません。

4. 著作権その他の知的財産権

本ソフトおよび関連資料等に関する著作権その他の知的財産権は、富士フイルムまたは本ソフトおよび関連資料等に記載された権利者に帰属します。本契約によりお客様に許諾された場合を除き、明示または黙示を問わずいかなる権利もお客様に譲渡されまたは許諾されません。

5. 保証および免責

（1）お客様が本製品をお買上げ後 90 日以内に本 CD-ROM に読み取り不能等の物理的欠陥が見つかった場合、富士フイルムは無償にて良品と交換します。

（2）本製品による第三者の著作権その他知的財産権の侵害の有無に関し、富士フイルムは何ら保証を行わないものとし、本製品の使用による第三者の著作権その他知的財産権の侵害およびそれによって生じるすべての損害につき、富士フイルムは一切責任を負いません。

（3）本製品は提供時の状態のままお客様に提供されるものです。富士フイルムは、第（1）項に定めるほか、商品性の保証、特定目的への適合性その他本製品につき、一切保証しません。

6. 責任の制限

富士フイルムは、「5. 保証および免責」に明記されている場合を除き、いかなる場合においても、本製品の使用や使用不能から生じる損害（逸失利益、付随的、特別あるいは結果的な損害を含みますがこれに限りません）について一切責任を負いません。

7. 輸出関連法の遵守

お客様は、本ソフトを日本国の「外国為替及び外国貿易法」その他の輸出規制関連法に違反して日本国外に持ち出す等の行為を行ってはなりません。

8. 解除

お客様が本契約に違反した場合は、富士フイルムは何らの通知・催告をすることなく直ちに本契約を解除することができます。

9. 契約期間

本契約は、お客様が本ソフトの使用を開始した日に発効し、「8. 解除」に基づき本契約が解除され、またはお客様が本ソフトの使用を終了するときまで有効とします。

10. 契約終了後の義務

本契約が終了した場合、お客様はお客様の責任にて本ソフト（複製物を含む）、本 CD-ROM および関連資料等をすべて消去・廃棄するものとします。

ソフトウェアに関するご注意

本製品に同梱されている CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

■使用説明書について

使用説明書はパーソナルコンピュータ（以下パソコンといいます）と Windows、Macintosh の使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンと Windows、Macintosh の使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。表示される画面やメニューが使用説明書と異なる場合がありますがご了承ください。

カメラをお使いになる前のご注意

ご使用になる前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合 : 付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合 : きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■商標について

- Macintosh、Mac OS、Quick Time は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windows の正式名称は、Microsoft® Windows®Operating System です。
- SDHC ロゴは商標です。
- NetFront は、株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。
- IrSimple ™ は Infrared Data Association® の商標です。IrSS ™ または IrSimpleShot ™ は、Infrared DataAssociation® の商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本機の使用・保管は避けてください。
- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカード / 内蔵メモリについてのご注意

■メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて

- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■メモリーカード、または内蔵メモリーをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカード、または内蔵メモリーを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。パソコンでメモリーカード、または内蔵メモリーのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカード、または内蔵メモリーがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源とバッテリー

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
バッテリー、電源について	レンズカバーを開けても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーを使ってください。	15、24
		バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	17
		AC パワーアダプターや DC カプラーが正しく接続されていますか？	AC パワーアダプターや DC カプラーをつなぎ直してください。	—
	バッテリーの減りが早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていませんか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	98
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		撮影モードが SR AUTO に設定されていませんか？	撮影モードが SR AUTO に設定されていると、バッテリーの消耗が早くなります。	
		同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性があります。新品のバッテリーと交換してください。	—
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	15、24
		AC パワーアダプターや DC カプラーが正しく接続されていますか？	AC パワーアダプターや DC カプラーをつなぎ直してください。	—

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	17
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	17
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか？	低温時は、充電時間が長くなるときがあります。	—
	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	—
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	

■ メニューなどの設定時

症 状	ここをチェック！	処 置	ページ
メニューが英語で表示されています。	セットアップメニューの **言語/LANG.** が **ENGLISH** になっていませんか？	言語設定を**日本語**にしてください。	22、88

困ったときは

■ 撮影時

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	19、29
		メモリーカード、内蔵メモリーはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	93
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	19
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	15、17、24
		電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	21
	撮影後、映像が消えて黒い画面になりました。	フラッシュ撮影しましたか？	フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、そのままお待ちください。	32
ピントについて	ピントを合わせられません。	近距離のものを撮影しようとしていませんか？	マクロを設定してください。	37
		マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか？	マクロを解除してください。	
		オートフォーカスの苦手な被写体（→ 30 ページ）を撮影しようとしていませんか？	AF/AE ロック撮影してください。	38

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
顔キレイナビ（顔検出機能）について	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できません。	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	40
	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	31
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	25
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
	ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔キレイナビを使わずに AF/AE ロック撮影してください。	38
マクロ（近距離）について	マクロ（近距離）が設定できません。	マクロ（近距離）が設定できない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	40
画像の記録について	撮影した画像や動画が記録されません。	カメラの電源が入っているときに AC パワーアダプターの接続や取り外しをしませんでしたか？	AC パワーアダプターや DC カプラーの接続および取り外しはカメラの電源が入っていないときに行ってください。メモリーカードの破損、パソコン接続時の誤作動の原因になります。	—

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが発光しない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	40
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	15、24
		連写が設定されていませんか？	**連写**を **OFF** に設定してください。	79
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	28
		フラッシュ設定が（発光禁止）になっていませんか？	フラッシュを（発光禁止）以外に設定してください。	32
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	使いたいフラッシュを選べない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	40
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	28
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	118
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	25
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	101
		レンズに指などがかかっていませんか？	レンズに指がかからないようしてください。	25
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と !AF が表示されていませんでしたか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	27、110
		撮影時に が表示されていませんでしたか？	手ブレの可能性があります。フラッシュ撮影をするか、三脚を使用してください。	32、110
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	CCD の特性によるもので、故障ではありません。	—
	画像に縦筋状のノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	21

■ 再生時

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	**ピクセル**を 03M にして撮影した画像ではありませんか？	**ピクセル**を 03M にして撮影した画像は、再生ズームができません。	81
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	92
		撮影中にマイクを手などでふさいでいませんでしたか？	撮影時はマイクをふさがないでください。	62
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	63
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行なったカメラをお使いください。	86
	全コマ消去したのに画像が残っています。			

■ 接続時

<table>
<tr><th colspan="2">症 状</th><th>ここをチェック！</th><th>処 置</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>パソコンとの接続について</td><td>パソコンがカメラを認識しません。</td><td>USB ケーブルが正しく接続されていますか？</td><td>確認して正しく接続し直してください。</td><td>70</td></tr>
<tr><td rowspan="4">プリンターとの接続について</td><td rowspan="2">接続したのにプリントできません。</td><td>USB ケーブルが正しく接続されていますか？</td><td>確認して正しく接続し直してください。</td><td>72</td></tr>
<tr><td>プリンターの電源は入っていますか？</td><td>プリンターの電源を入れてください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>1 枚ずつしかプリントされません。</td><td rowspan="2">PictBridge 対応のプリンターでプリントしていますか？</td><td rowspan="2">プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を 1 枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。</td><td rowspan="2">—</td></tr>
<tr><td>日時が印字されません。</td></tr>
<tr><td>AC アダプター、DC カプラー接続について</td><td>デモモード再生開始のメッセージが表示されます。</td><td>電源供給時に電源をオンしましたか？</td><td>設定した場合スライドショーが再生されます。カメラ操作に戻る場合はシャッターボタンを押してください。</td><td>18</td></tr>
</table>

■ その他

<table>
<tr><th colspan="2">症 状</th><th>ここをチェック！</th><th>処 置</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="3">カメラの動作などについて</td><td rowspan="2">カメラのボタンなどを操作しても動きません。</td><td>一時的に誤作動を起こしている可能性があります。</td><td>バッテリー、AC パワーアダプターや DC カプラーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。</td><td>17、18</td></tr>
<tr><td>バッテリーの消耗が原因として考えられます。</td><td>新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。</td><td>15、17</td></tr>
<tr><td>カメラが正常に作動しなくなってしまいました。</td><td>一時的に誤作動を起こしている可能性があります。</td><td>バッテリー、AC パワーアダプターや DC カプラーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。</td><td>17、18、125</td></tr>
<tr><td>音について</td><td>音がでません。</td><td>マナーモードに設定されていませんか？</td><td>マナーモードを解除してください。</td><td>28</td></tr>
<tr><td rowspan="2">タッチパネルについて</td><td rowspan="2">タッチパネルのアイコンが操作できない / 正しく操作できない。</td><td>タッチ位置に誤差が生じています。</td><td>画面を調節（キャリブレーション操作）してください。</td><td>94</td></tr>
<tr><td>カメラを持つ手が、タッチパネルを押さえていませんか？</td><td>タッチパネルが押された状態では動作しません。</td><td>—</td></tr>
</table>

警告表示

液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処 置
（赤点灯）	バッテリーの残量が少なくなっています。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
（赤点滅）	バッテリーの残量がありません。	
	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態です。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚のご使用をおすすめします。
!AF（赤点灯） AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	• AF/AE ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください（→ 38 ページ）。 • 暗い場合は被写体から 2m 程度離れて撮影してください。 • 近距離撮影の場合は、**マクロ**を設定してください。
絞り、シャッタースピード表示（赤点灯）	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。ただし、適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
レンズカバーが開いていません	レンズカバーが閉じた状態で撮影しようとしました。	レンズカバーを開けてから撮影してください。
フォーカスエラー	カメラが誤作動または故障しています。	• 電源を入れ直してください。 • 電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
ズームエラー		
レンズ制御エラー		
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で再生メニューの **フォルダ管理**を選びました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください（→ 93 ページ）。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→93ページ）。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→ 93 ページ）。それでも警告表示が消えない場合は メモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
320 リサイズできません	320 の画像をリサイズしようとしました。	320 の画像はリサイズできません。

警告表示	警告内容	処 置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→ 93 ページ）。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→ 93 ページ）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください（→ 125 ページ）。
	非対応のメモリーカードです。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
	メモリーカードが壊れています。	
空き容量がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がないため、画像を記録 / コピーできません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
空き容量がありません		
メモリーがいっぱいです カードを入れてください		
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源の **ON**/**OFF** を繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください（→ 125 ページ）。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください（→ 93 ページ）。
プロテクトされたカードです	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください（→ 20 ページ）。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→93ページ）。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカード（→ 93 ページ）をカメラに入れて、セットアップメニューの **コマ No.** を**新規**に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。**コマ No.** を**連番**に戻すと、引き続き撮影できます（→90ページ）。
ファイル数の上限です	撮影可能枚数の上限である 30000 枚に達しているため、これ以上撮影できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。

警告表示	警告内容	処 置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→ 93 ページ）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください (→ 125 ページ)。
プロテクトされています	• プロテクトされているファイルを消去しようとしました。 • プロテクトされているファイルを回転しようとしました。	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください（→ 86 ページ）。
パスワードが違います	設定と異なるパスワードを入力しました。	パスワードを再設定してください。
03M トリミングできません	03M の画像をトリミングしようとしました。	これらの画像はトリミングできません。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または再生できない画像をトリミングしようとしました。	
回転できません 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	回転できません。
実行できません 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしました。	—
マナーモードを解除してください	マナーモード時にフラッシュや音量を設定しようとしました。	マナーモード時は、フラッシュや音量の設定はできません。フラッシュや音量を設定したい場合は、マナーモードを解除してください。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	• パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 • パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。
送信できません	他のカメラで撮影した画像（ ）を赤外線通信で送信しようとしました。	他のカメラで撮影した画像は赤外線通信で送信できません。
	赤外線通信中に通信が途切れました。	画像送受信範囲内から動かしたり、障害物を置いたりしないでください。

警告表示	警告内容	処 置
受信できません	赤外線通信中に通信が途切れました。	• 画像送受信範囲内から動かしたり、障害物を置いたりしないでください。 • 赤外線通信の場合は、カメラや他の機器の画像送受信範囲内から送受信してください。
プリンターエラー	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	• プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 • プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。 • お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか？	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は **OK** をタッチして、プリントを再開してください。
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとしました。	• お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターがJFIF-JPEG、Exif-JPEG 形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできない コマです	他のカメラで撮影した画像（🎁）または動画をプリントしようとしました。	• 動画はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

資料集

用語の解説

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムや CCD などの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することにより CCD に与える光量を一定にしています。CCD に与えられる光量が 2 倍になると EV 値は＋ 1、半分になると EV 値は－ 1 変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFF や JPEG との互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCF が JEITA 規格になっています。

JPEG（ジェイペグ）：Joint Photographic Experts Group の略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーションジェイペグ）：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマット AVI（Audio Video Interleave）形式の 1 種類であり、ファイル内の画像は JPEG 形式で記録されています。パソコンでは下記のソフトで再生できます。
- **Windows**：Windows Media Player（DirectX8.0 以降）
- **Macintosh**：QuickTime Player（QuickTime3.0 以降）

WAVE（ウェイブ）：音声を保存するための Windows における標準フォーマットで、拡張子は“.WAV”です。記録形式には非圧縮記録と圧縮記録があります。本機では非圧縮記録を採用しています。パソコンでは下記のソフトで再生できます。

- **Windows**：Windows Media Player
- **Macintosh**：QuickTime Player（QuickTime3.0 以降）

スミア：撮影画面内に太陽やその反射光など非常に明るい輝点があるときに、画像に白いスジが写る CCD 特有の現象。

デジタルズーム：レンズを動かすことで、被写体を拡大して撮影する光学ズームとは異なり、カメラの内部処理で被写体を大きく見せて撮影する機能です。光学ズームと併用すると、より大きく撮影することができますが、撮影された画像の画質は劣化します。

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

SD メモリーカード、内蔵メモリーの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数及び撮影時間の枚数は目安です。実際の撮影枚数及び撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

ピクセル		10M F	10M N	8M 16:9	5M	3M	2M 16:9	2M	03M	640	320
記録画素数		3648×2736		3648×2056	2592×1944	2048×1536	1920×1080	1600×1200	640×480	640×480	320×240
画像一枚のファイルサイズ		約 5.0MB	約 2.5MB	約 1.9MB	約 1.5MB	約 780KB	約 720KB	約 630KB	約 130KB	—	—
内蔵メモリー（約 31MB）		6	12	16	24	39	44	47	201	26 秒	54 秒
SD メモリーカード	512MB	100	190	260	380	600	680	730	3090	6 分	13 分
	1GB	200	390	520	770	1210	1370	1470	6190	14 分	27 分
	2GB	400	790	1050	1540	2380	2690	2950	12400	28 分	55 分
SDHC メモリーカード	4GB	800	1590	2100	3100	4770	5390	5900	24810	56 分 *	111 分 *
	8GB	1610	3190	4220	6220	9570	10820	11850	30000	112 分 *	223 分 *
	16GB	3200	6330	8370	12350	19000	21480	23530	30000	224 分 *	743 分 *
	32GB	6440	12720	16810	24800	30000	30000	30000	30000	450 分 *	891 分 *

* 動画を連続して記録する場合、2GB で自動的に撮影停止します。停止後に続けて撮影したい場合は、再度シャッターボタンを押してください。記録可能時間表示は約 2GB で計算されます。

主な仕様

システム	
型番	FinePix Z300
有効画素数	1000 万画素
撮像素子	1/2.3 型 ベイヤー CCD 原色フィルター採用
記録メディア	• 内蔵メモリー（約 31MB） • SD/SDHC メモリーカード（弊社推奨品）
記録方式	• **静止画**：DCF 準拠（圧縮：Exif Ver.2.2　JPEG 準拠） • **動画**：DCF 準拠（AVI 形式、Motion JPEG） • **音声**：WAVE 形式、モノラル
記録画素数 （ピクセル）	• 10M F（3648×2736） • 10M N（3648×2736） • 8M 16:9（3648×2056） • 5M（2592×1944） • 3M（2048×1536） • 2M 16:9（1920×1080） • 2M（1600×1200） • 03M（640×480）
ファイルサイズ	別表に記載（→ 116 ページ）
レンズ	**名称**：フジノン光学式 5 倍ズームレンズ **焦点距離**：f=6.4mm ～ 32mm（35 mm フィルム換算：約 36mm ～約 180mm 相当） **開放 F 値**：F3.9（広角）
デジタルズーム	4：3 約 5.4 倍（光学 5 倍ズームと併用　最大約 27 倍）
絞り	F3.9（広角）/F6.4（望遠）
撮影可能範囲 （レンズ先端面からの距離）	• **標準**：［広角］約 60cm ～∞、［望遠］約 60cm ～∞ • （マクロ）：［広角］約 9cm ～約 80cm、［望遠］約 40cm ～約 80cm
撮影感度	AUTO/100/200/400/800/1600（標準出力感度）
測光方式	CCD センサーによる 256 分割 TTL 測光
露出制御	プログラム AE
露出補正	－ 2EV ～ +2EV、1/3EV ステップ（M 時）
シーンポジション	人物、風景、スポーツ、夜景、夜景（三脚）、花火、夕焼け、スノー、 ビーチ、パーティー、花の接写、TEXT 文字の撮影
撮影モード	動画、M マニュアル、オート、SR AUTO シーンぴったりナビ、タッチショット、高感度 2 枚撮り、 N ナチュラルフォト、SP シーンポジション
手ブレ補正機能	光学式（CCD シフト方式）
顔キレイナビ（顔検出機能）	あり

資料

システム	
シャッタースピード	• 、、、、、、SP（、、、、、、、、、）：1/4 秒〜 1/1000 秒 • ：4 秒〜 1/2 秒　• ：1/8 秒〜 1/500 秒　• ：3 秒〜 1/500 秒
連写	連写速度：約 0.6 コマ / 秒、最大 5 コマまで
フォーカス	• **モード**：シングル AF • **AF 方式**：TTL-CCDAF 方式 • **AF フレーム選択**：センター固定 / オートエリア
ホワイトバランス	AUTO/ 晴れ / 日陰 / 蛍光灯 1/ 蛍光灯 2/ 蛍光灯 3/ 電球
セルフタイマー	恋するタイマー / みんなでタイマー /10 秒 /2 秒 /OFF
フラッシュ	• **方式**：オートフラッシュ • **撮影可能範囲（感度：AUTO 時）**：［広角］約 30cm 〜約 3.5m ：［望遠］約 30cm 〜約 2.8m
フラッシュ発光モード	• **赤目補正 OFF 時**：オートフラッシュ / 強制発光 / 発光禁止 / オートフラッシュスローシンクロ • **赤目補正 ON 時**：赤目軽減 / 赤目軽減強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減スローシンクロ
液晶モニター	3.0 ワイド型、アモルファスシリコン TFT、約 23 万ドット（視野率 約 100%）、アスペクト比 16：9
動画	640 × 480/320 × 240 ピクセル、30 フレーム / 秒、音声付き（モノラル） 撮影時のズームはできません
撮影メニュー	マナーモード、顔キレイナビ（顔検出機能）、連写、フレーミングガイド、FINEPIX カラー
再生モード	画像加工、ピクチャーサーチ、フォルダ管理
赤外線通信機能	対応規格：IrSimple ™、IrSS ™ /FIR
その他の機能	PictBridge 対応、Exif Print 対応、PRINT Image Matching II 対応、言語設定（日本語、英語）、世界時計（時差設定）

入出力端子	
デジタル入出力	USB2.0 High-Speed、MTP/PTP 接続

電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-45（付属） 専用 DC カプラー CP-45（別売）と専用 AC パワーアダプター AC-5VX（別売）を組み合わせて使用可能
バッテリー作動可能枚数の目安	**バッテリーの種類**：NP-45 **撮影枚数**：約 170 枚 CIPA（カメラ映像機器工業会：Camera & Imaging Products Association）規格によるバッテリー寿命測定方法（抜粋）：バッテリーは付属のものを使用。記録メディアは SD メモリーカードを使用。液晶モニター ON、温度（23℃）、30 秒ごとに 1 回撮影。撮影ごとに光学ズームを広角側と望遠側で交互に繰り返して端点まで移動し、2 回に 1 回フラッシュをフル発光、10 回に 1 回電源 OFF/ON して撮影。 **注意**：バッテリー残容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。
本体外形寸法	92mm × 56.5mm × 18.5mm（幅×高さ×奥行き）＊バリアおよび突起部含まず
本体質量	約 130g（付属バッテリー、メモリーカード含まず）
撮影時質量	約 150g（付属バッテリー、メモリーカード含む）
動作環境	**温度**：0℃～＋ 40℃ **湿度**：10 ～ 85%（結露しないこと）

バッテリー NP-45	
公称電圧	3.7V
公称容量	740mAh
使用温度	0℃～＋ 40℃
本体外形寸法	31mm × 39.4mm × 5.7mm
質量	約 15g

バッテリーチャージャー BC-45W	
定格入力	AC 100V ～ 240V　50/60Hz
入力容量	8.0VA（100V）　12VA（240V）
定格出力	DC4.2V　550mA
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-45
充電時間	約 110 分（+20℃において）
使用温度	0℃～＋ 40℃
外形寸法	91mm × 62mm × 23mm（幅×高さ×厚み）（突起物を除く）
質量	約 67g（本体のみ）

※ 質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

索引

[か]

[さ]

[た～な]

[は]

[ま〜や]

[ら〜わ]

ソフトウェアのお問い合わせについて

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストール、FinePixViewer の使い方は使用説明書（本書）や FinePixViewer のヘルプから調べることができます。

2 富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせ

（http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html）、またはインターネットメニューの「サポート登録変更」から、ホームページで調べてください。

＊「サポート」をご利用いただくには画像ネットサービスへのユーザー登録が必要です。

3 裏表紙のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、ご質問用紙にご記入の上、下記の情報もご用意ください。

- ・カメラの機種名
- ・FinePixViewer のバージョンまたは CD-ROM のタイトル
- ・エラーメッセージ
- ・どのようなときにトラブルが発生しますか？ / トラブルが発生する直前の操作は？ / カメラの状態は？ / トラブルが発生する頻度は？
- ・ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

·あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

・保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。

・保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪い時はまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が裏表紙に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が裏表紙にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

・本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。

・修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。

・落下･衝撃 、砂･泥かぶり 、冠水･浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

・内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。 大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。 内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ 修理部品について

・本製品の補修用部品は、製造打ち切り後８年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。

・本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1.お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。

2.弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。

3.ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

● FinePix クイックリペアサービス

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが最短 3 日の宅配修理サービスです。

- 申し込みは、以下から選択してください。

  【クイックリペアサービス申し込み先】

  インターネット：
  http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php
  ナビダイヤル：0570-00-9555
  ※受付時間：月〜土 9:00 〜 17:00（日・祝日・年末年始を除く）
  ※ PHS・IP 電話・NTT 以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、「0228-35-3586」に電話してください。
  ファクス：0570-06-0070
  申し込みに際し、「個人情報の取扱について」をご確認ください。
- 当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- 保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

● FinePix 特急 30 分修理（持込修理）

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、30 分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。故障の内容によっては、対応できない場合があります。

- 下記サービスステーションにて FinePix 特急 30 分修理を実施しております。

東京 大阪 名古屋 札幌 福岡	当社ホームページ http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html をご覧ください。 ※仙台サービスステーションでは FinePix 特急 30 分修理は実施しておりません。

- その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- 特急修理のために特別なサービス料金は不要です。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、お引取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●お買上げ店への持込修理

- 修理料金及びその支払方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

■ 修理に関する情報は

・修理サービス Q&A

http://repairlt.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html

修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

・修理納期検索サービス

http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp

東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。

・FinePix 修理概算見積サービス

http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php

当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。

FinePix Z300 修理依頼票

※予め「個人情報の取扱について」をご確認ください。
※本紙は拡大コピーしてお使いください。※下表の□は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お 名 前		FAX番号	
ご 住 所	〒　　　　　－		
ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある8桁の番号です。 修理お問合せ時にご連絡ください。	NO.		
修理品への添付	□保証書　・　□メモリーカード　・　□バッテリー		
□（　　　） □（　　　）	□（　　　） □（　　　）		
見 積	□要（修理金額　　　　円以上見積り）　・　□不要		
見積連絡方法	□電話　・　□FAX		
故障症状（故障時の様子）			
ご購入時期	20　　年　　月		
修理履歴	□初回　・　□再依頼（□同一症状　・　□別症状）		
発生状況	発生頻度	□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　　日に　　回）	
	動作モード	□再生時　・　□撮影時　・　□ショックを与えると	
	他機との接続	□無　・　□有（接続機　　　　）	
	使用電源		

富士フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

※予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター

ナビダイヤル **0570-00-1060** / 携帯電話・PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は **0228-35-1088**

市内通話料金でご利用いただけます
⇒呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

月曜日～金曜日　午前9：00～午後5：40　土曜日　午前10：00～午後5：00　日・祝日・年末年始を除く

FAX **0570-06-7555** 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/　※弊社ホームページの自己解決に役立つ「Ｑ＆Ａ検索」もご利用ください。

●修理の受付は…　※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口　富士フイルム修理サービスセンター

ナビダイヤル **0570-00-0081** / PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は **0228-35-3586**

⇒呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

月曜日～金曜日　午前9：00～午後5：40　土曜日　午前10：00～午後5：00　日・祝日・年末年始を除く

FAX **0570-06-0070** 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■修理品ご送付受付窓口　富士フイルム修理サービスセンター
〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1 / TEL：0228-35-3586

▶ お急ぎの場合は、全国どこからでも

【FinePix クイックリペアサービス】：お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
インターネット：http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php / ナビダイヤル：0570-00-9555

■修理品お持込窓口　全国６箇所のサービスステーション（東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・福岡）でも修理をお受けします。
サービスステーションにつきましては、当社ホームページhttp://fujifilm.jp/をご確認ください。

▶ お近くにサービスステーションがあれば

【FinePix 特急修理30分】： 30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス
※ 故障の内容によっては、対応できない場合があります。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…
お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前9：30～午後5：00） TEL 03-5786-1712